

令和2年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

(分野別)



神石高原町教育委員会

目 次

	ページ
I. 油木高校魅力化+プロジェクト編	1 ~ 8
II. 中 高 連 携 教 育 編	9 ~ 19
III. 油 木 高 校 生 へ の 町 支 援 編	20 ~ 27

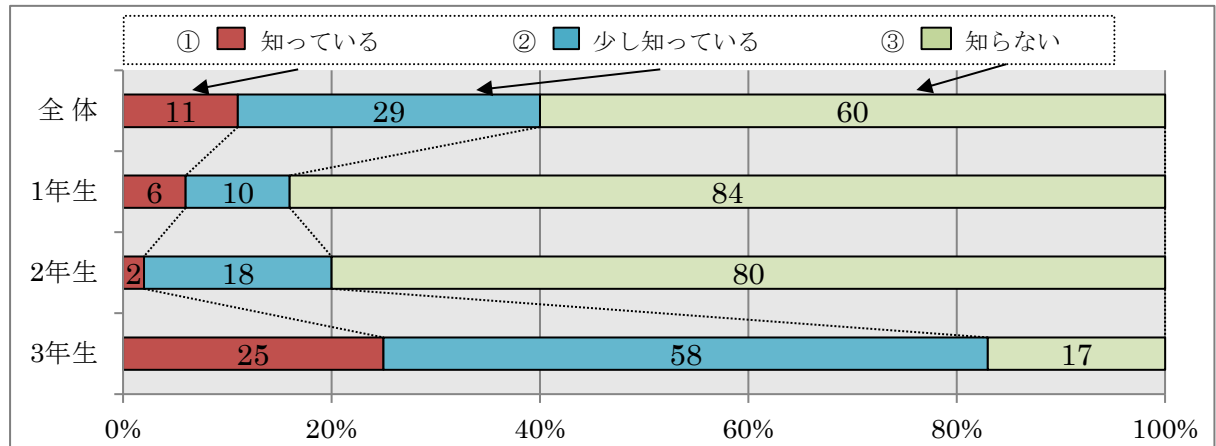
回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>157人</u> / 在籍者数	168人
2. 高 校 生	回答者数 <u>163人</u> / 在籍者数	167人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>57人</u> / 全教職員数	60人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>160人</u> / 対象児童数	161人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>159人</u> / 生徒総数	168人
6. 地 域	回答者数 <u>91人</u> / 質問者数	110人

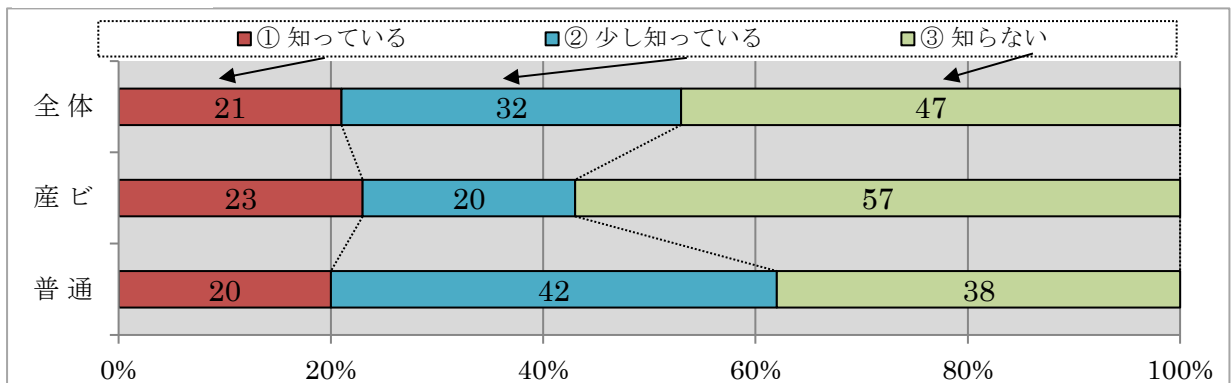
I。「油木高校魅力化+プロジェクト」に関わるアンケート調査 結果と考察

- ① 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を実施していますが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。

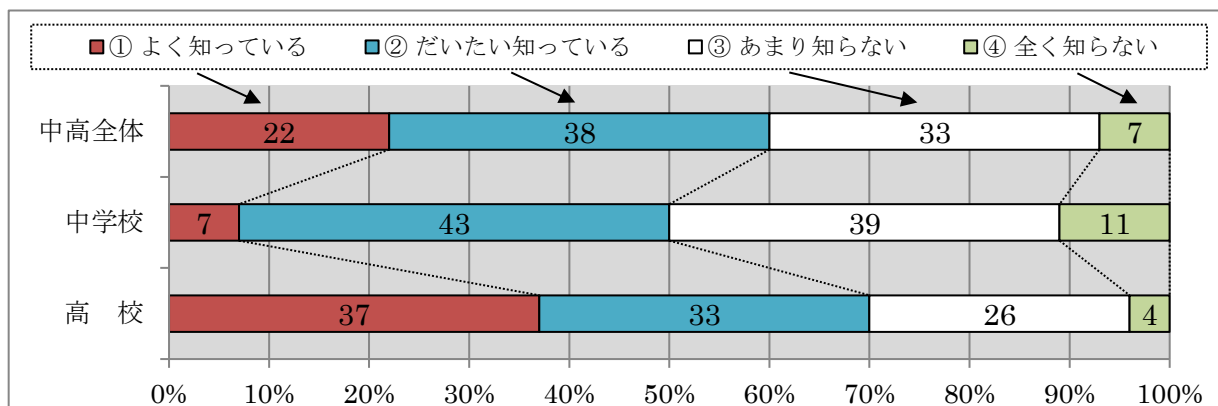
<中学生>



<高校生>



<中・高 教職員>

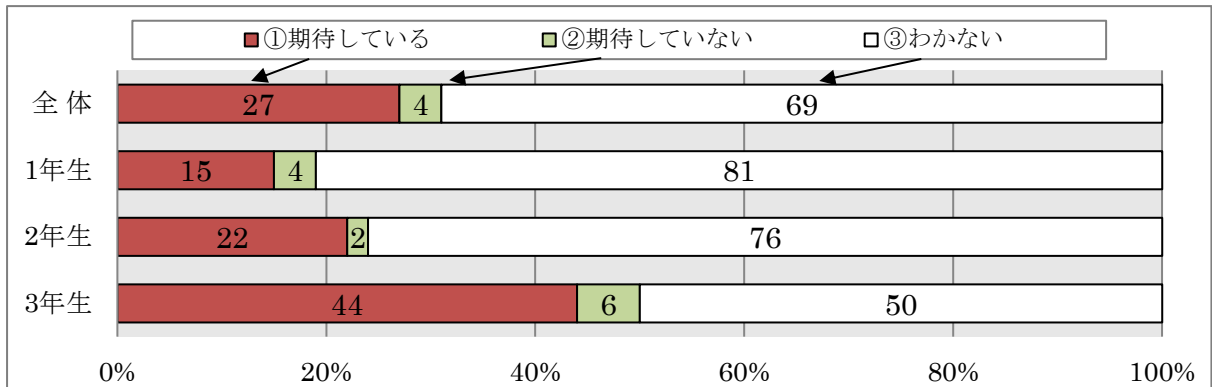


考察 ・認知度が高いのは、全体で見ると 中・高教職員、高校生、中学生の順であるが、その中で中学3年生の「よく知っている、だいたい知っている」の肯定的回答が83%と教職員や高校生よりも高い数値であった。

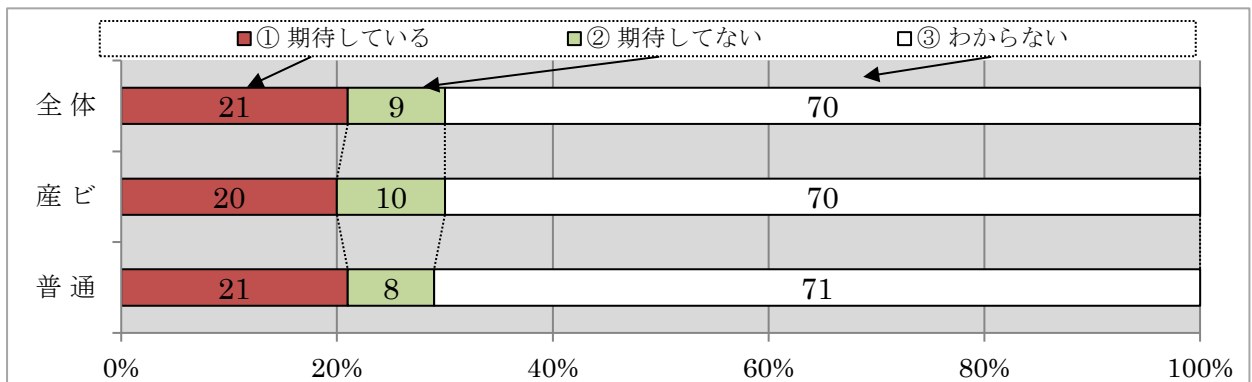
・油木高校ホームページの「高校魅力化+プロジェクト」コーナーの更新は「神ゼミにゆうす」ぐらいで、その他の新情報更新が不足していた。

② 「油木高校魅力化+(グループ)プロジェクト」に期待感をもっていますか。

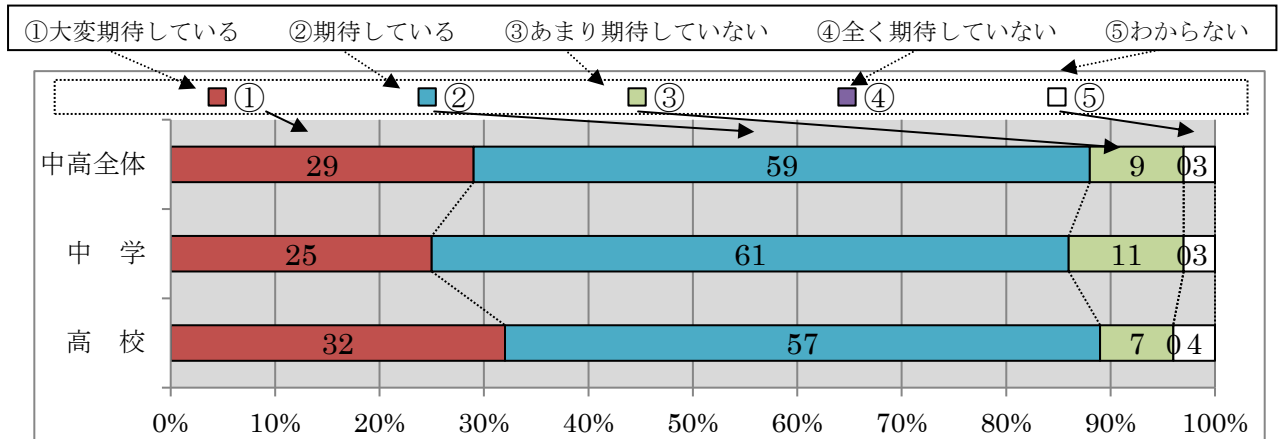
<中学生>



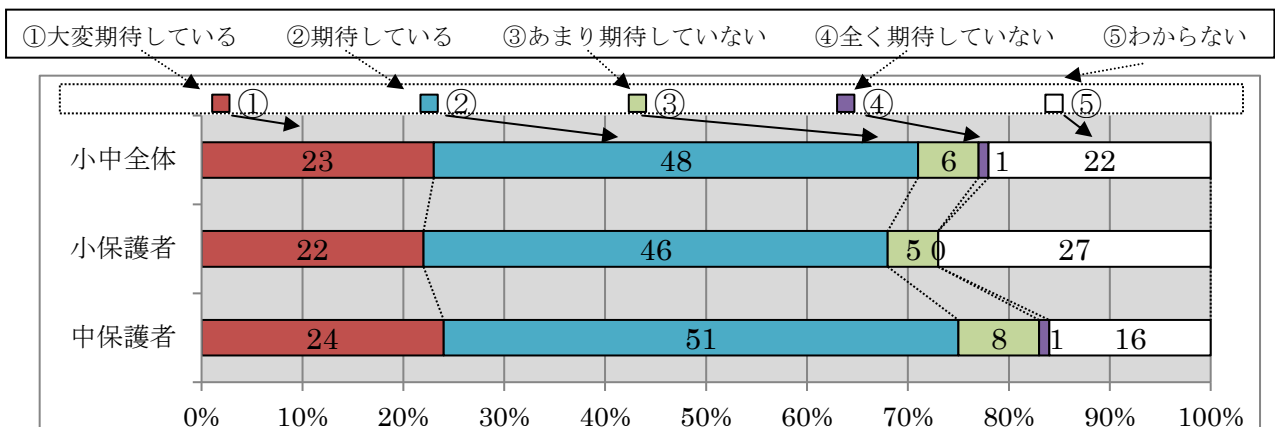
<高校生>



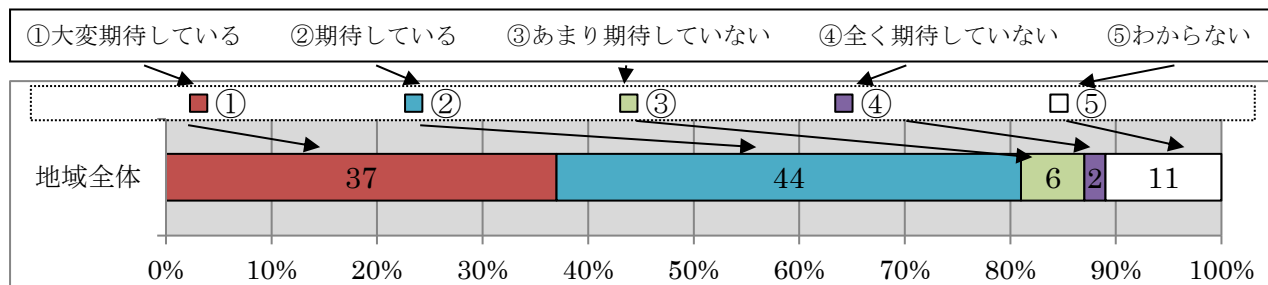
<中・高 教職員>



<小・中 保護者>



<地 域>



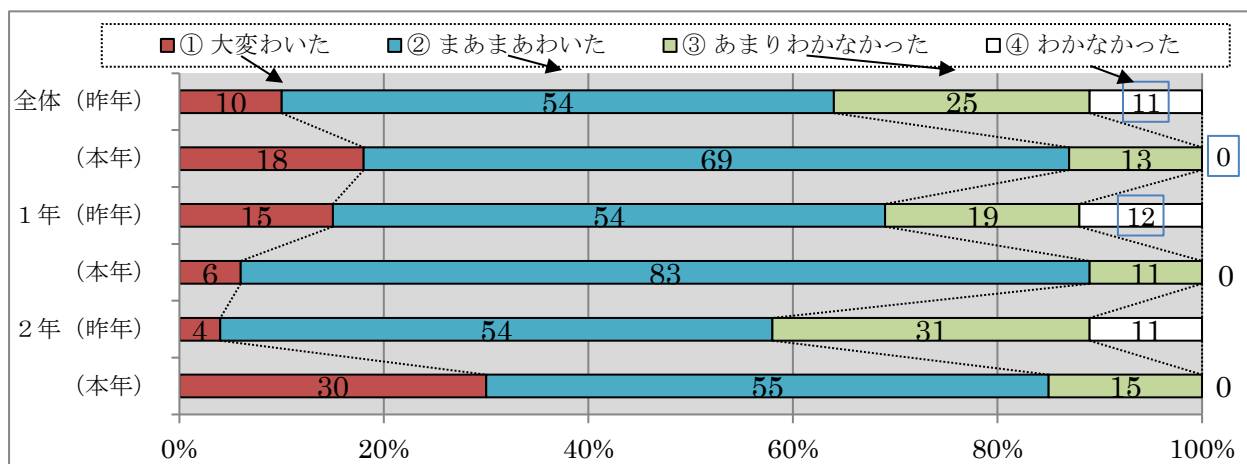
考察 ・「大変期待している・期待している」の肯定的回答としては、中高教職員の88%が最も高く、次いで地域の81%、小中保護者の71%でした。

・反対に「期待していない・あまり期待していない」の否定的回答は、昨年度二桁台（13%・14%・26%）が多かったが、本年度は中学生・教職員・保護者・地域全てにおいて4~9%の一桁台でした。

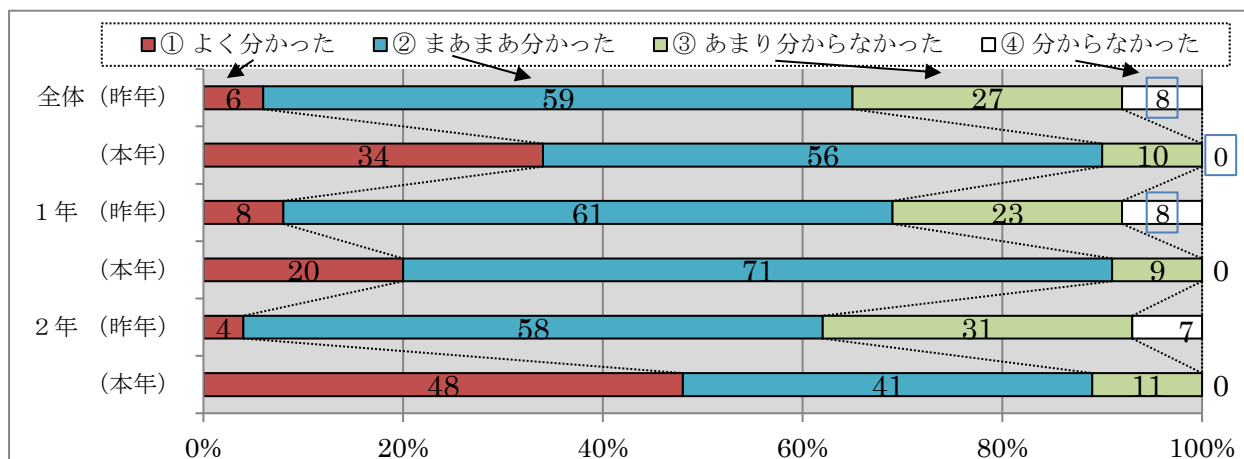
・「わからない」とする者が、中学生、高校生、小中保護者に多いが、特に中・高生の70%以上が「わからない」と回答しており、これまで十分な情報提供ができていなかったことを反省すると共に、今後の重要課題としてしっかりと取り組んでいく必要がある。

③ <高校生> 油木高校普通科1，2年生の「総合的な探究の時間」（神ゼミ）は、昨年度から新しいカリキュラムで実施していますが、そのことについて質問します。 * 普通科の1～2年生のみ教えてください。

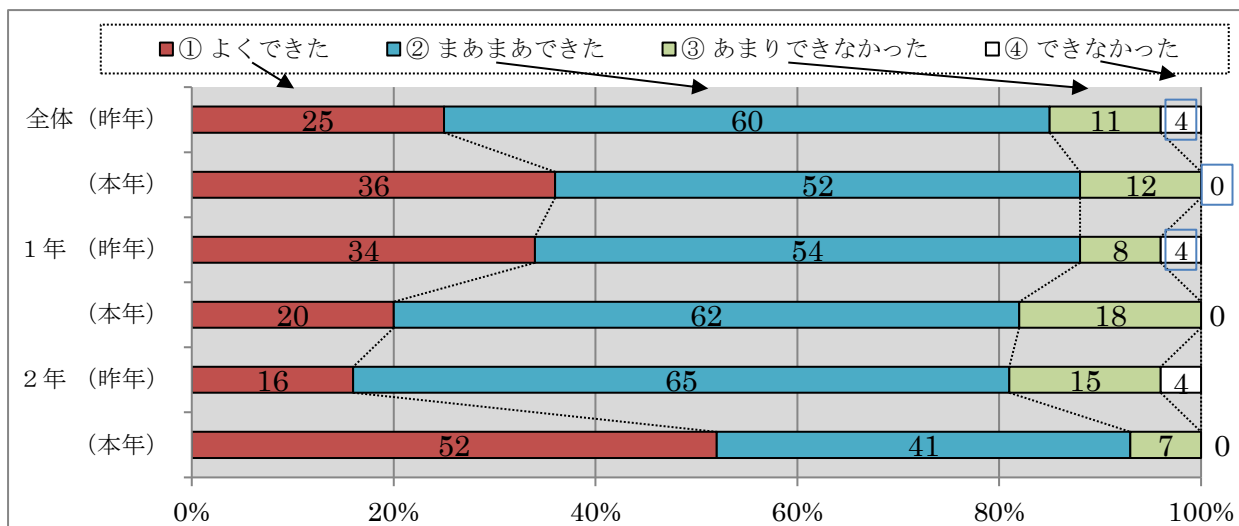
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。（興味・関心・意欲）



(2) 授業内容は分かりましたか。（理解度）



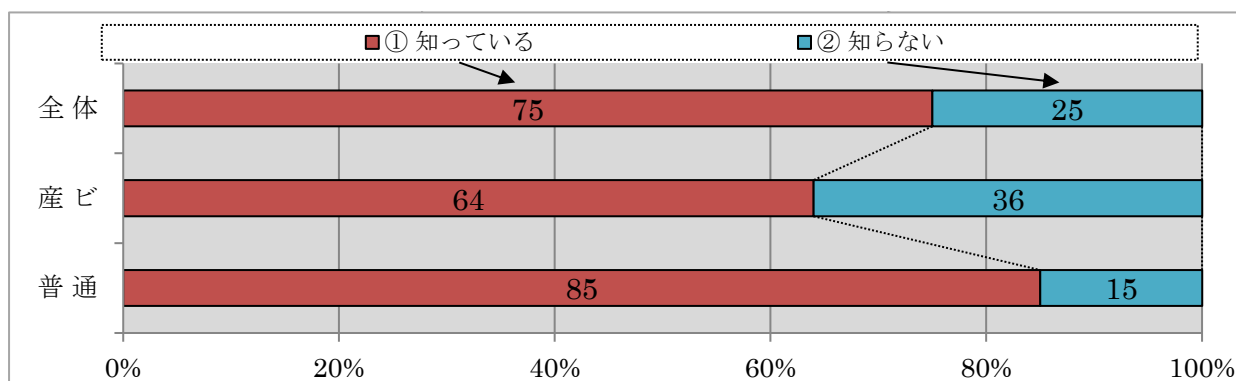
(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。(態度・活動面)



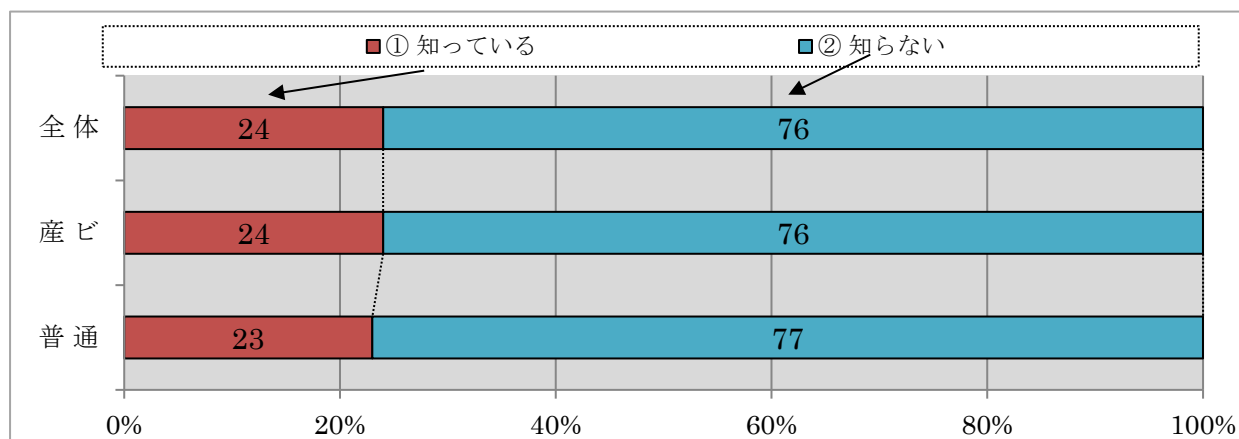
考察 ・普通科1, 2年生の「総合的な探究の時間」について、(1)で興味・関心・意欲を、(2)で理解度を、(3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが、前年と比較して2年生はどの項目も高い数値である。

・1, 2年生ともに各項目の肯定的回答(①+②)が80%以上の数値である。また各項目とも前年と比較すると、概して高い評価となっている。これは、各学年の担当の先生方や地域おこし協力隊が前年度の経験を踏まえての取り組みと、(株)プリマペンギーノ社の適切な指導があつてのことと思われる。

4 <高校生> (1) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか。



(2) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では、どんなことをしているか知っていますか。



(3) 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。 ※()内は昨年度の人数

	産業ビジネス科	普通科	計
	(受講したことがある)	(受講したことがある)	(受講したことがある)
1年生	0人	0人	0人
2年生	7人 (5人)	4人 (4人)	11人 (9人)
3年生	0人 (0人)	2人 (0人)	2人 (0人)
計	7人 (10人)	6人 (8人)	13人 (18人)

(4) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

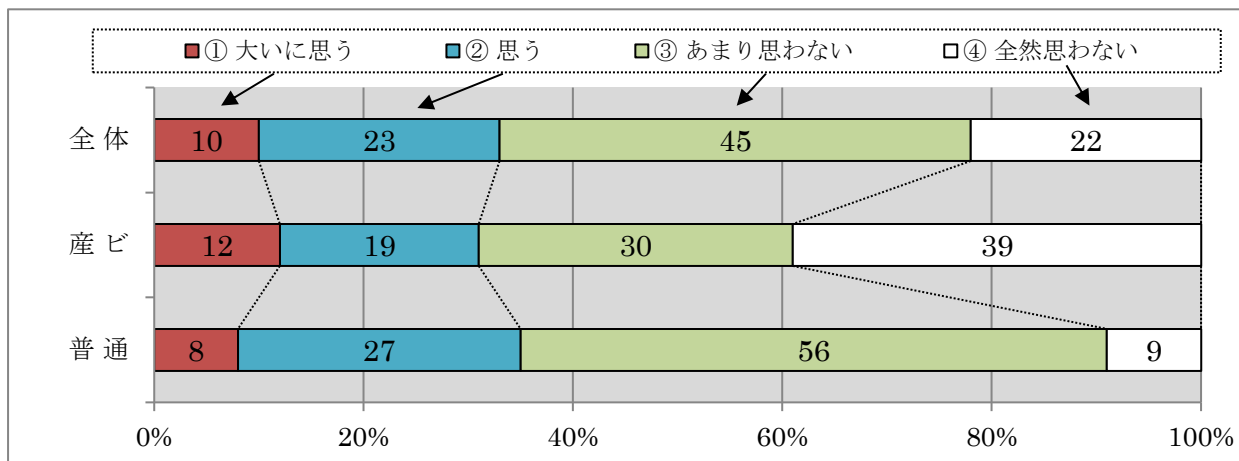
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
	1年生	0	1	0	1	0	0	1
2年生	5	3	3	0	2	0	0	0
3年生	2	0	0	0	1	0	3	0
計	7人	4人	3人	1人	3人	0人	4人	0人

考察 ・上記(1)で放課後「神ゼミ」の存在は知っている生徒が多いが、(2)では学習内容なり学習活動を「知っている」との回答率が全体で24%(昨年21%)と低調である。まずは認知度をもっと高めるための工夫や策が必要である。

・受講した生徒は少数であるが、評価もバラバラである。それは参加した生徒の意識の問題であると思われる。しかし、その多く(68%)が「勉強になる」との肯定的回答をしており、指導者側は自信を持って、今後も研鑽を積みながら、実績の見える化(外部の発表大会等での入賞)をしていく必要がある。

・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+7°」の目玉でもあるので、より多くの生徒が受講し、中身も充実したものになるよう、実績のある(株)プリペンの指導や支援を今後もお願いしたい。

⑤ <高校生> あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。

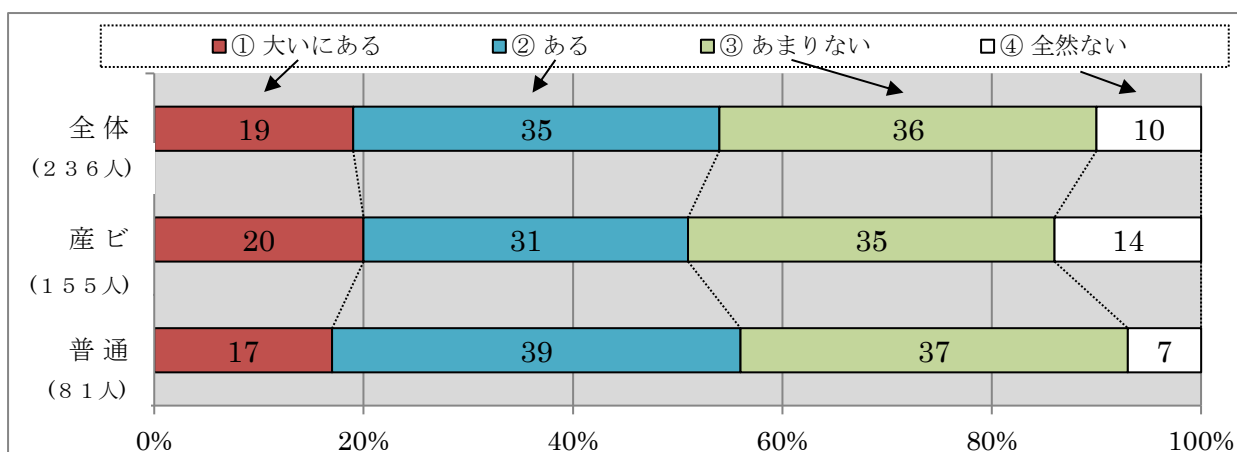


	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				全 体
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	3	4	0	7 (8%)	3	2	4	9 (12%)	16 (10%)
② 思う	12	7	5	24 (27%)	2	7	5	14 (19%)	38 (23%)
③ あまり思わない	18	13	20	51 (56%)	8	8	6	22 (30%)	73 (45%)
④ 全然思わない	2	3	3	8 (9%)	15	6	8	29 (39%)	37 (23%)
小 計	35	27	28	90	28	23	23	74	164

考察 ・全体では、①「大いに思う」が10%（昨年8%）と1割で、人数では16人（昨年11人）である。そして、「思う」は23%（昨年28%）あり、肯定的回答は約1/3である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は68%で、約2/3を占めている。ただし、全生徒の42%（70人）は町外生である。

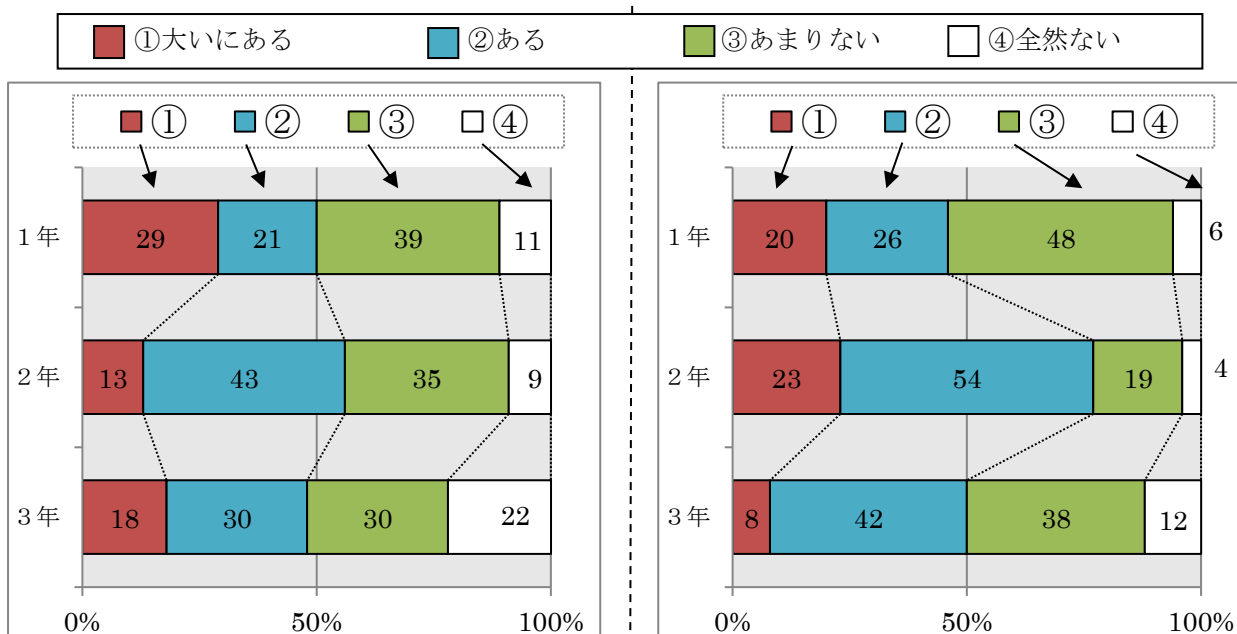
・学科別では、「大いに思う」は若干ではあるが産ビ科の方が4%ほど多いものの、「思う」を含めた肯定的回答率では4%ほど普通科の方が多くなっている。

⑥ <高校生> あなたは、自分の地元に貢献したいという気持ちがありますか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >

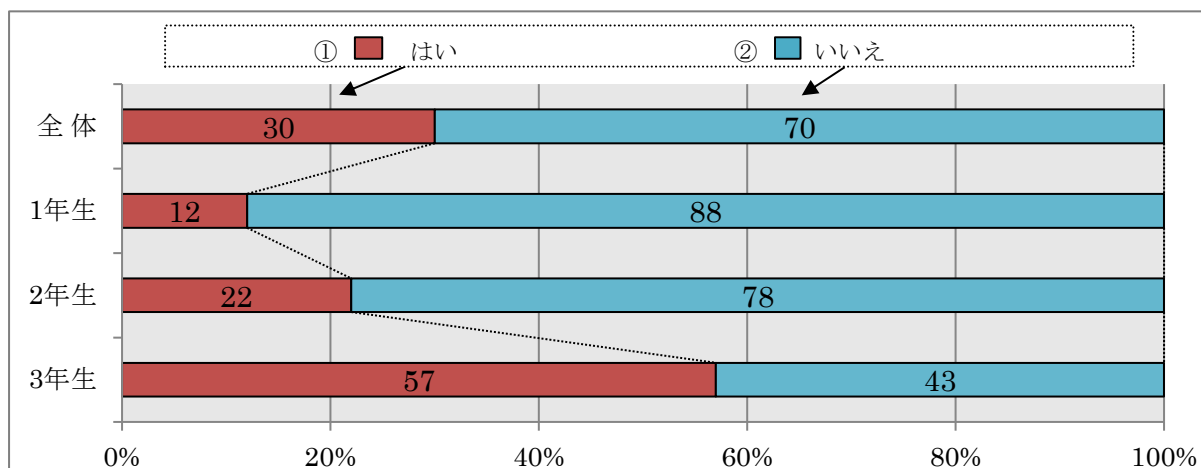


	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	8	3	4	15 (20%)	7	6	2	15 (17%)	30 (19%)
② ある	6	10	7	23 (31%)	9	14	11	34 (39%)	57 (35%)
③ あまりない	11	8	7	26 (35%)	17	5	10	32 (37%)	58 (36%)
⑤ 全然ない	3	2	5	10 (14%)	2	1	3	6 (7%)	16 (10%)
小計	28	23	23	74	35	26	26	87	161

考察 ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が19%（昨年19%）で、「ある」を含めた肯定的回答は54%（昨年64%）で半数以上ではあるが、昨年より若干減少しているのは残念である。

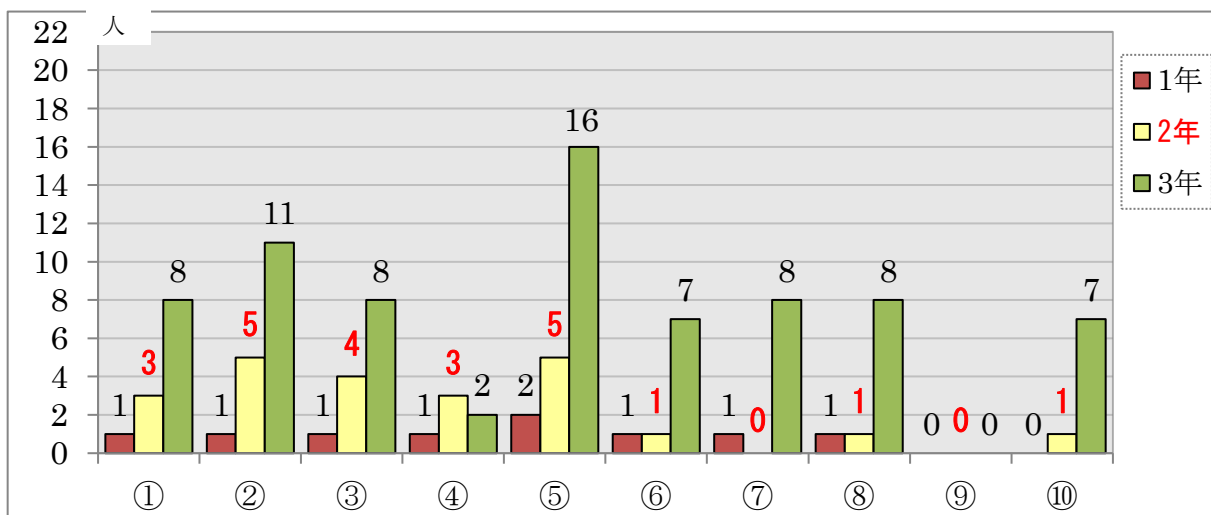
- ・学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合は、普通科と産ビ科の数値にあまり差はない。
- ・学科別&学年別では、肯定的回答が70%以上は普通科2年生(77%：昨年85%)の1クラスのみで、昨年は3クラス（産ビ科1年71%、3年77%、普通科1年85%）あった。

7 <中学生> (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



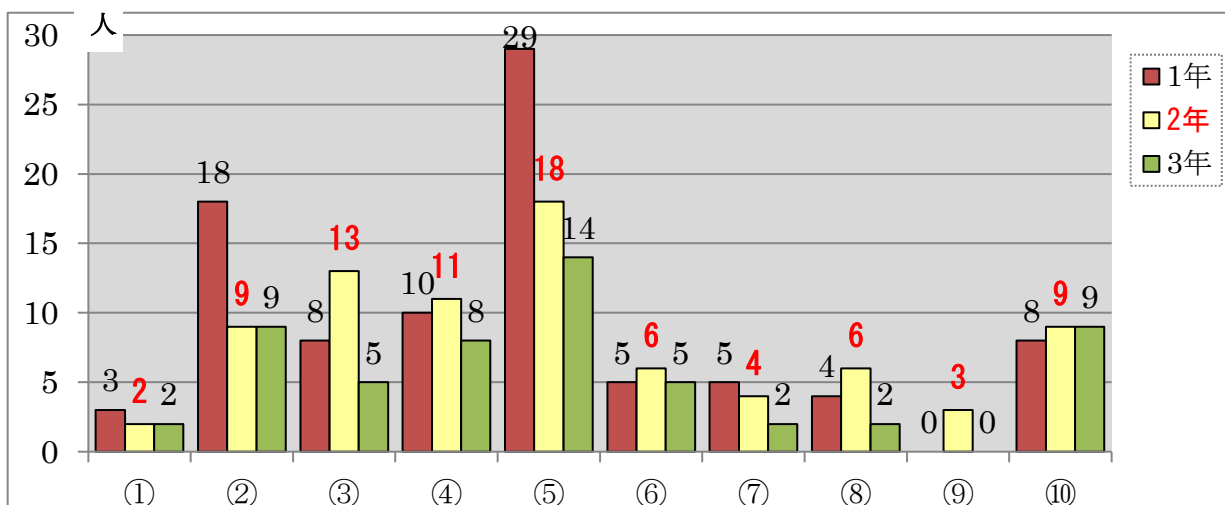
(2) 上記5(1)の質問で「①はい」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソコンがウロド ⑩ オーストラリア姉妹校連携



(3) 上記5(1)の質問で「①いいえ」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心がありますか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソコンがウロド ⑩ オーストラリア姉妹校連携



考察 ・油木高校ホームページを見たことのある生徒は全体で30%（昨年度40%）と半分を切っているが、中3生は57%と、やはり高校への関心が高いことが伺われる。

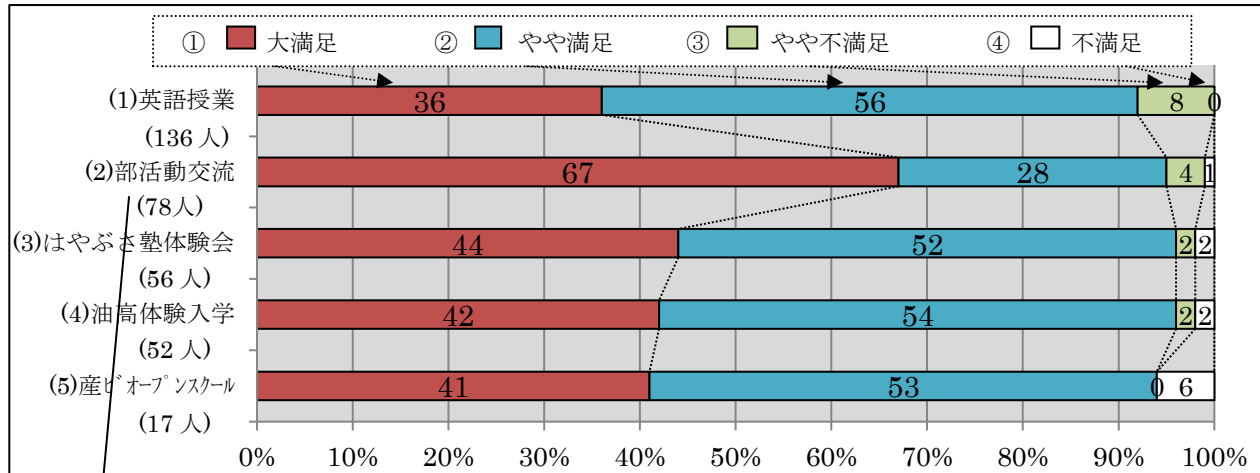
・「見たことがある生徒」で興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」の順であった。そして、3年生は⑦「連携型中高一貫教育」に興味関心が高いようである。

・「見たことがない生徒」で、興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：④「施設紹介」の順で、「見たことがある生徒」とあまり大差はない。

Ⅱ. 「中高連携教育」に関わるアンケート調査 結果と考察

中学生 編

- 1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目のみ、その感想を教えてください。



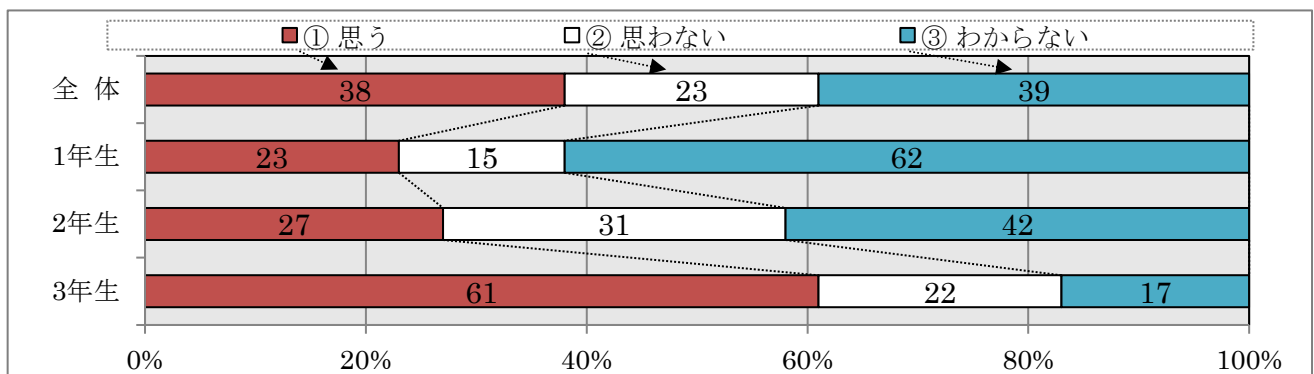
<交流状況> 卓球 (17人), バレー (20人), ソフトテニス (8人), 野球 (12人), 陸上(5人), 吹奏楽 (14人), 美術 (2人)

考察 交流授業で「英語」の授業満足度は92% (昨年:93%) が「大満足・やや満足」で、本年度も高い肯定的回答であった。今後一層中身の充実に向けて、町研教科部会等で情報交流・授業交流などしながら有効策を追究していく必要がある。また、今後の交流授業は、中高連携教育を一層効果的なものとするために、出来るだけ対象学年を中3・高1を中心に取り組んでいけるよう各校で検討していく必要がある。

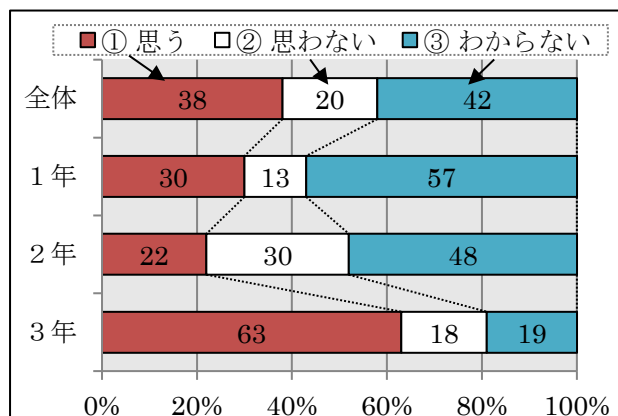
その他の項目の中で、「大満足」が一番多いのは「部活動交流」である。それだけに、交流回数が増えていく対策を推進委員会事務局レベル等で検討していく必要がある。

- 2 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

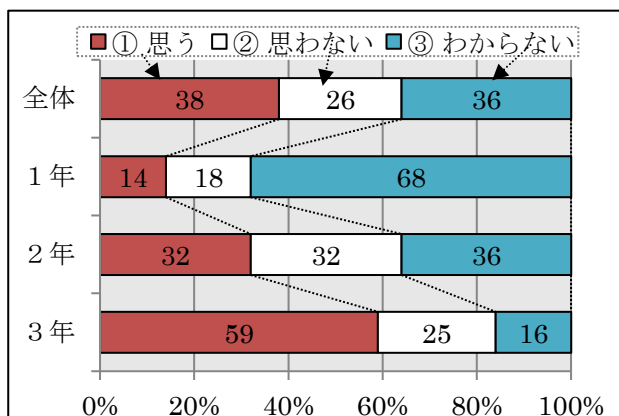
< 2校全体では >



< 三和中 >



< 神石高原中 >



考察 ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は46%（前年38%、前々年43%）で、過去2番目に高い数値（H27：49%）であった。

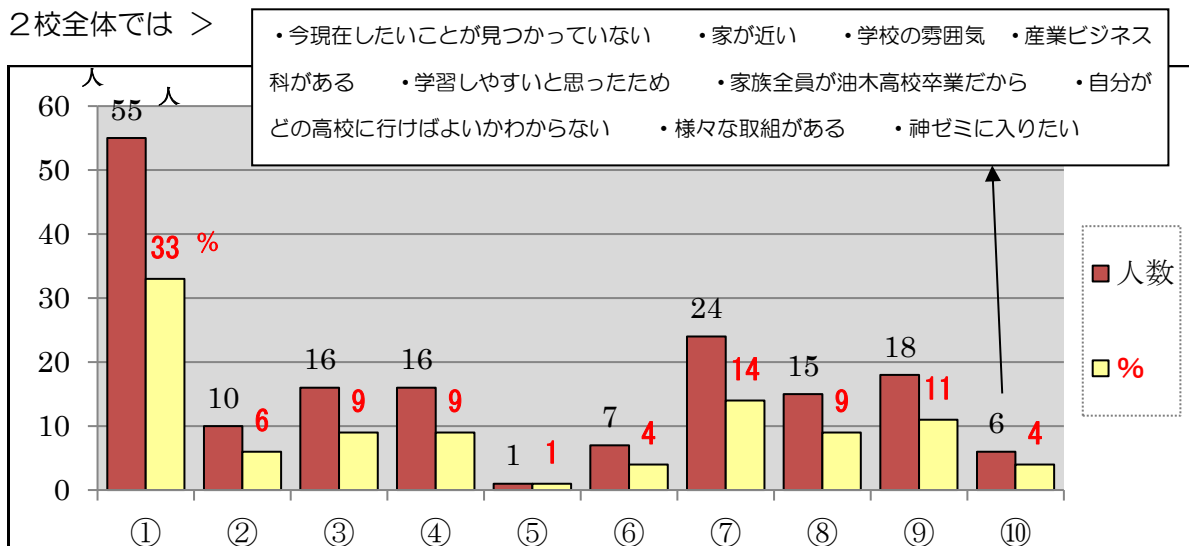
・全体の学年別では、3年生の「思う」が昨年度と同じ61%（R1年61%、H30年54%、H29年54%）で、一つの目標数値である60%以上をクリアしている。また、経年比較でみると（昨年度の1年生23%→本年度の2年生35%、昨年度の2年生27%→本年度の3年生61%）というように年々増加傾向になっているのは、学校現場の取組みと地域あげでの取り組みの成果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校へ進学したいと思う」率が3年生は前年の2倍以上の数値（前年時の数値：三和中22%、高原中32%）となっている。これは学校の取組みと保護者の理解によるところが大きい。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）

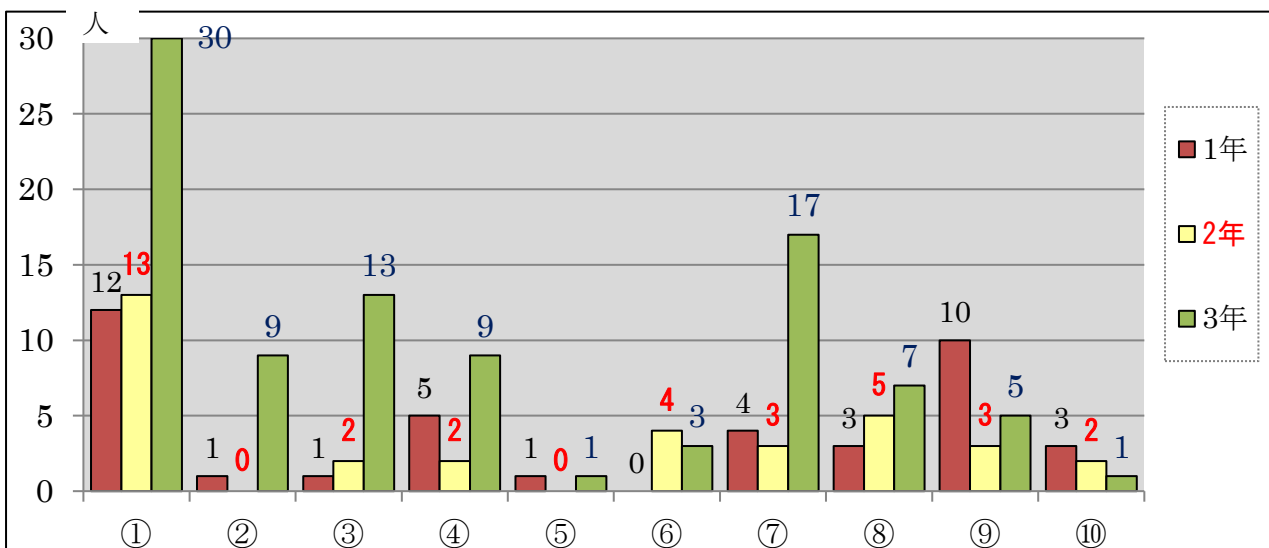
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



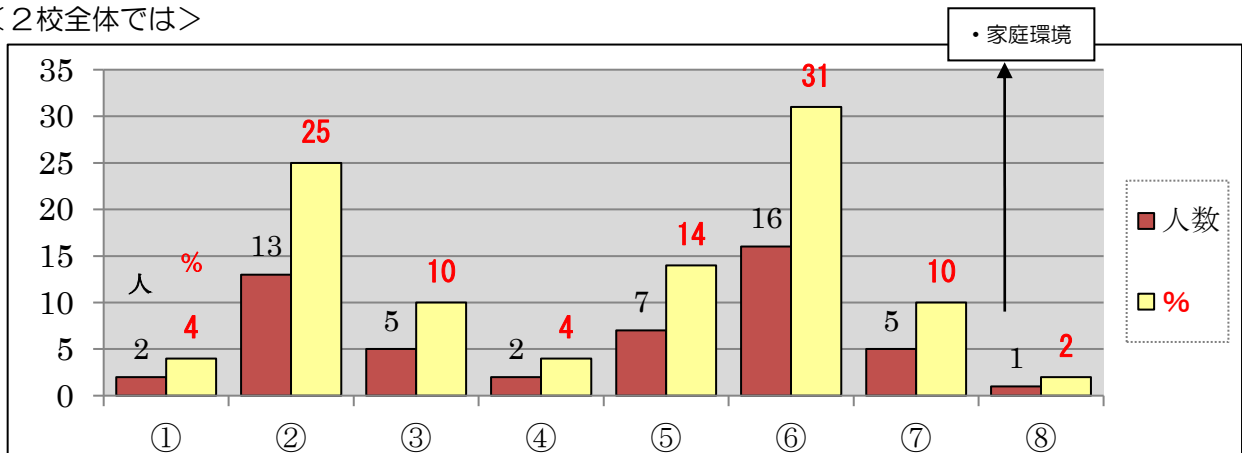
考察 ・2校全体で多い順は、1位：①「通学が便利」(33%)、2位：⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある（14%）、3位：⑨ 友人関係（11%）となっている。

・学年別で特徴的なものとしては、3年生が上記の三つ以外に③「教育内容面」、②「進路実績」、④「クラブ活動面」、⑧「親・家族の薦め」と多くの項目を理由に挙げている。これは、油木高校の良さを多方面にわたって感じているものと思われる。

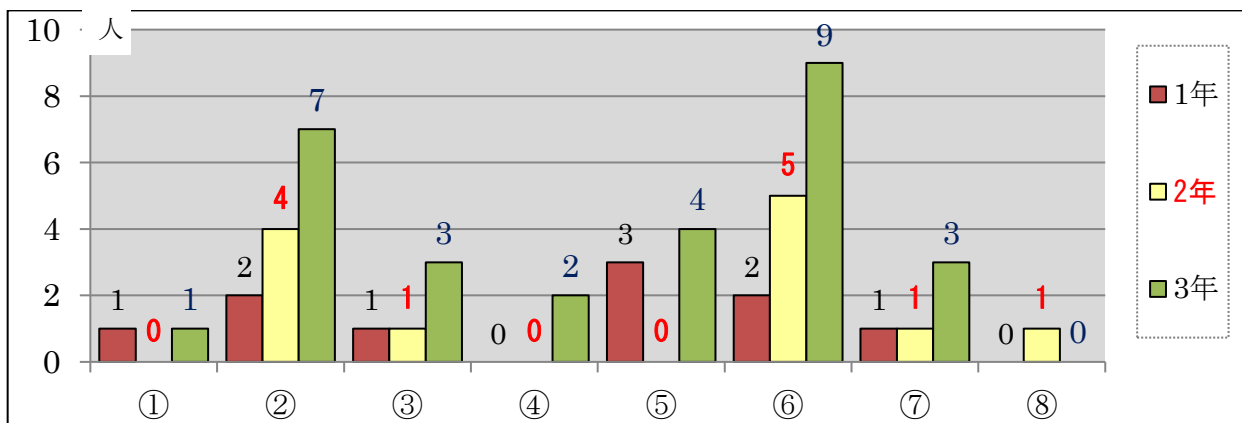
(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと） 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<各学年別の人数では>



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(31%)、2位：②「教育内容面」(25%) 3位：⑤「希望の学科がない」(14%)、となっており、ほぼ例年と同様である。

・例年「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が最も多い。それだけに「油木高校の進路指導や進路実績」を中学生に分かりやすく説明したり、ホームページ上で紹介していく必要がある。また、中学校での進路説明会時に油木高校担当教員は「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるかもしれない。

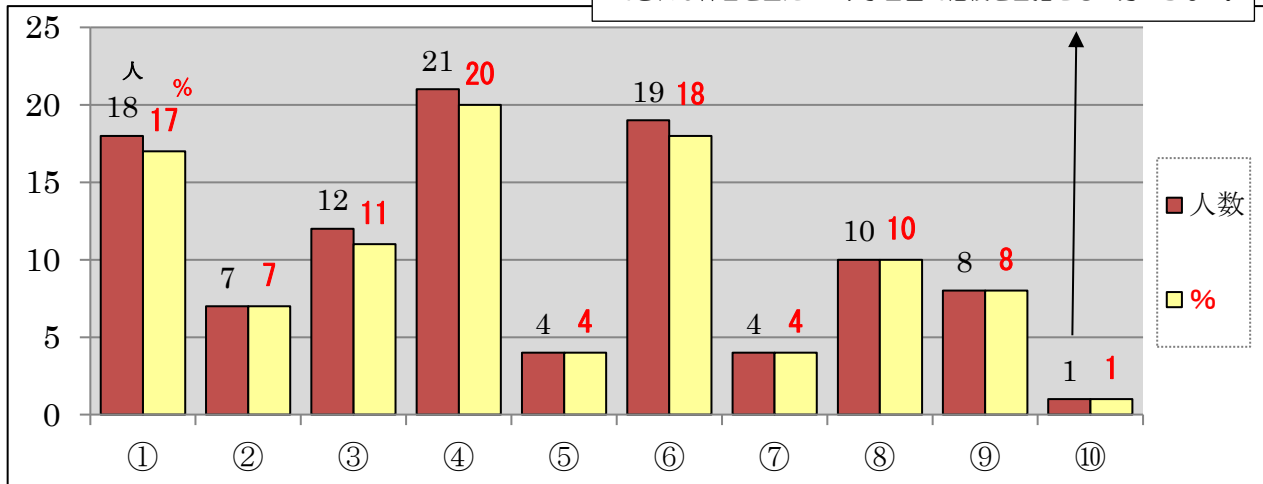
・各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語って頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）が持てれば、大変効果があると思われる。←（高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく）

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

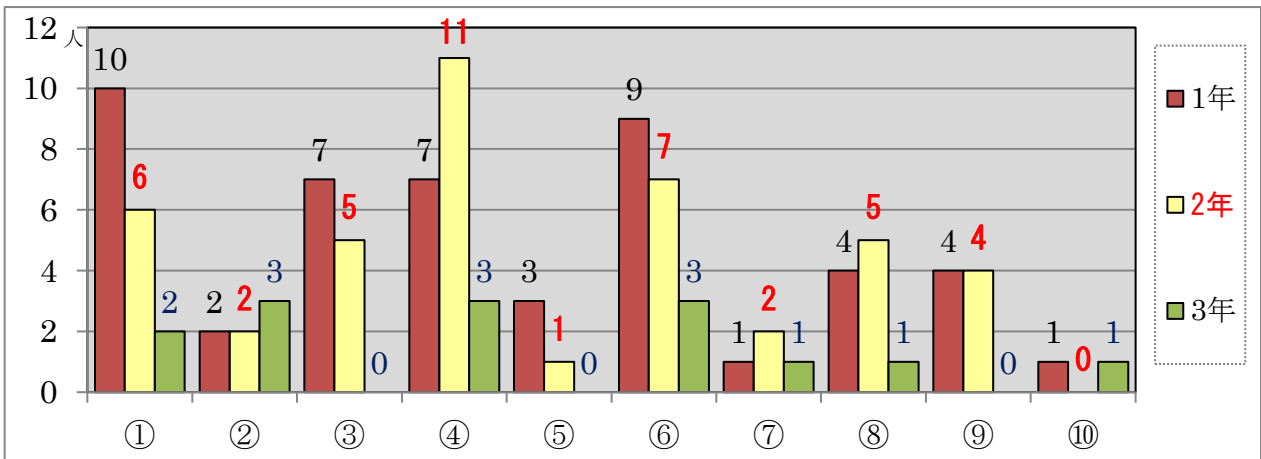
<2校全体では>

できれば神石を出たいが、学習面で他校を目指せるか分からない。



- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

<各学年別の人数では>

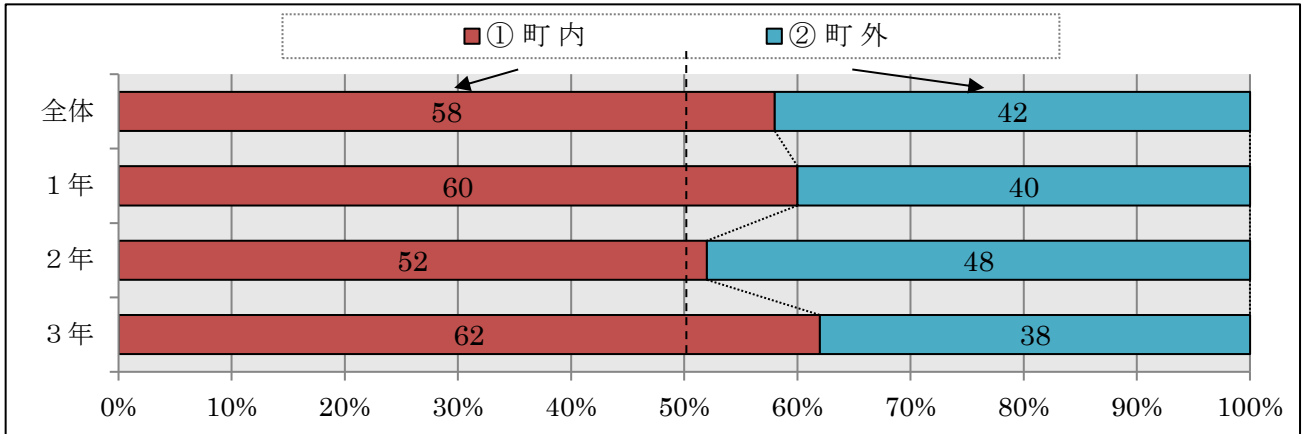


考察 ・2校全体で多い順は、1位：④「教育内容面」(20%)、2位：⑥「クラブ活動面」(18%)、3位：①「通学便」(17%)となっており、昨年度と順位的にも%数値もほぼ同じである。

・各学年別に見たときの特徴としては、1年生は①「通学便」や⑥「クラブ活動面」、③「進路実績」が他学年に比べて多く、2年生は④「教育内容面」が最も多い。次いで⑥「クラブ活動面」、①「通学便」となっている。3年生は②「伝統や校風」、④「教育内容面」、⑥「クラブ活動面」が多いが、突出したものは無い。

・年度によって多少の違いはあるものの、生徒が高校選択する時の重要項目としては、④「教育内容面」、⑥「クラブ活動面」、①「通学便」、③「進路実績」に収れんできる。よって、それらが充実していくような取り組みや支援策を今後も検討していく必要がある。

1 あなたの出身中学校は、どちら（町内・町外）ですか。



<学年別・学科別の人数表>

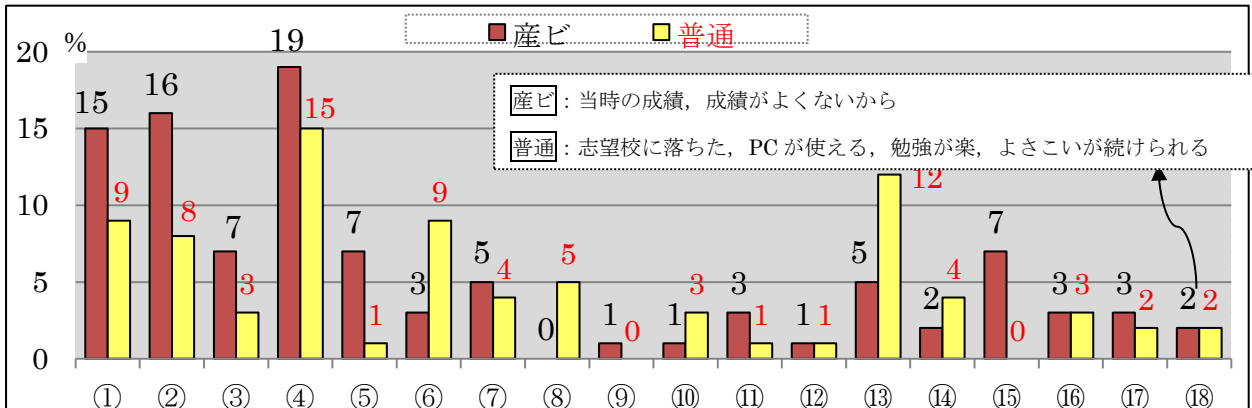
(人)

	産業ビジネス科			普通科			計		
	町内	町外	計	町内	町外	計	町内	町外	計
1年生	11	21	32	29	6	35	40	27	67
2年生	8	15	23	18	9	27	26	24	50
3年生	8	15	23	23	4	27	31	19	50
計	27	51	78	70	19	89	97	70	167

考察 ・学科別では、町外生が普通科（19名）よりも産比科（51名）が断然多いが、普通科も増加傾向にある。
 ・学年別でみた時、昨年度初めて町外生が町内生を上回った学年があったが、本年度は全学年とも町内生が多い。

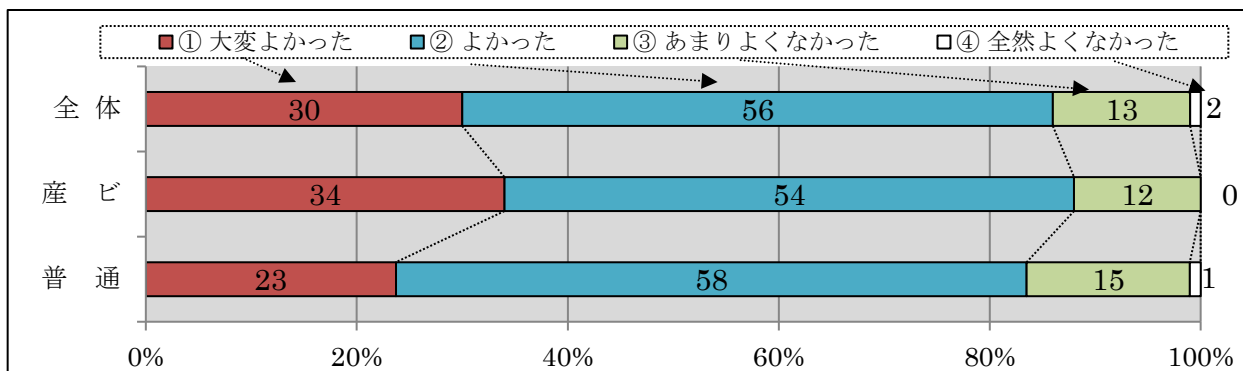
2 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① 自宅から近い ② 親・家族の薦め ③ 先生の薦め ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面 ⑥ 部活動面 ⑦ 寮がある ⑧ はやぶさ塾がある
- ⑨ 放課後神ゼミがある ⑩ 海外研修がある ⑪ 進路実績 ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係 ⑭ 経費が安い ⑮ 学科への興味 ⑯ 通学費の補助
- ⑰ 兄弟が通学している ⑱ その他（ ）



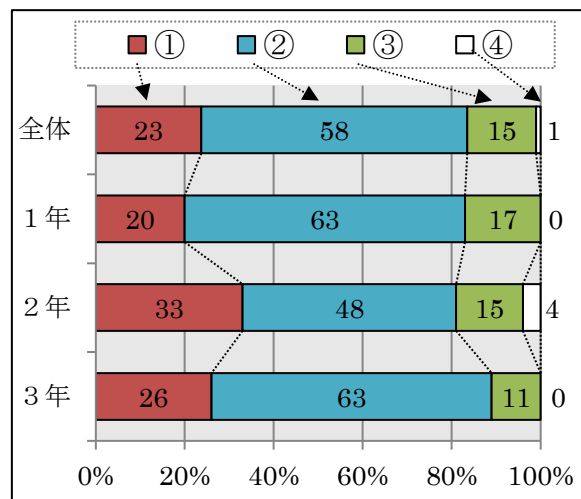
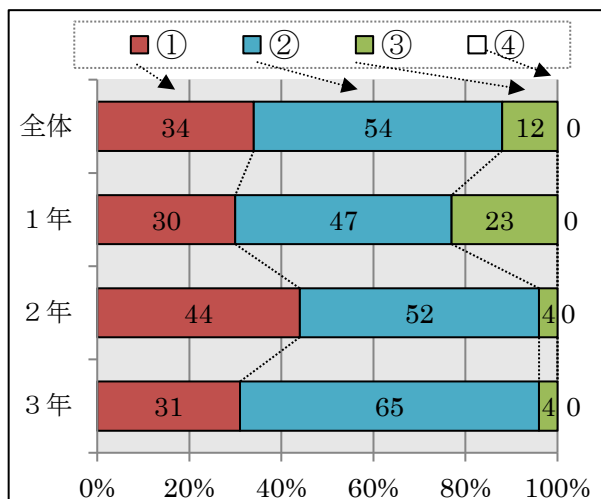
考察 ・全体的には、④「自分の希望」、①「自宅から近い」、②「親・家族の薦め」の順に多い。
 ・学科ごとにみると、両科とも④「自分の希望」が一番多いが、二番目は産業ビジネス科では②「親・家族の薦め」が多く、普通科は⑬「友人関係」が多いのが特徴としてあげられる。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >



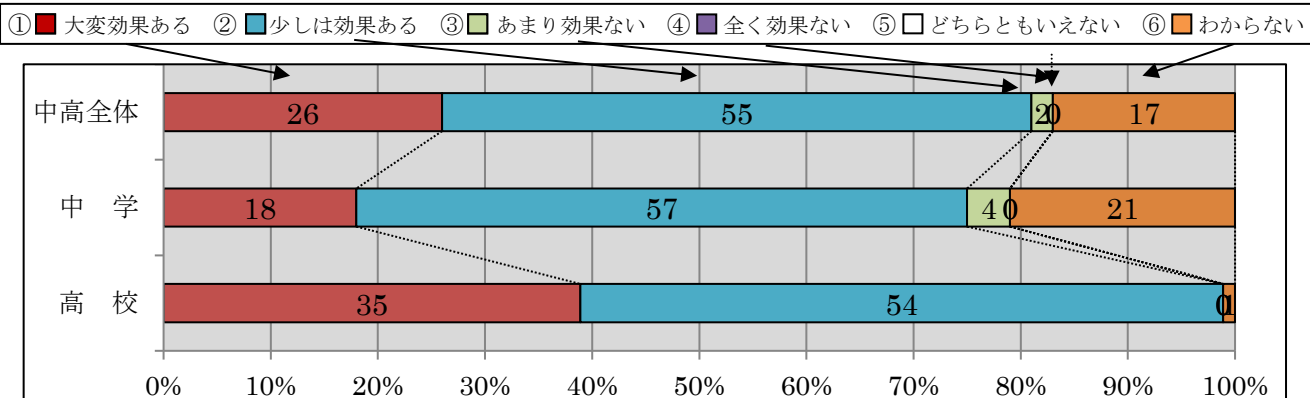
考察

- ・全体では、例年と同様に多くの生徒（86%：昨年95%）が「よかった」と肯定的回答をしている。
- ・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で34%（昨年59%）、普通科は23%（昨年37%）といずれも減少し、反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科12%（昨年6%）、普通科16%（昨年5%）と増加している。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ科0%、普通科1%。
- ・学年、学科ごとでは、2・3年生の産ビ科が肯定的回答「よかった」が一番多かった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年95%→96%）、同じく2年生は（昨年88%→96%）、一方、普通科3年生は（昨年92%→89%）、2年生は（93%→81%）という回答率であった。

中・高 教職員編

① 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的交流授業（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。

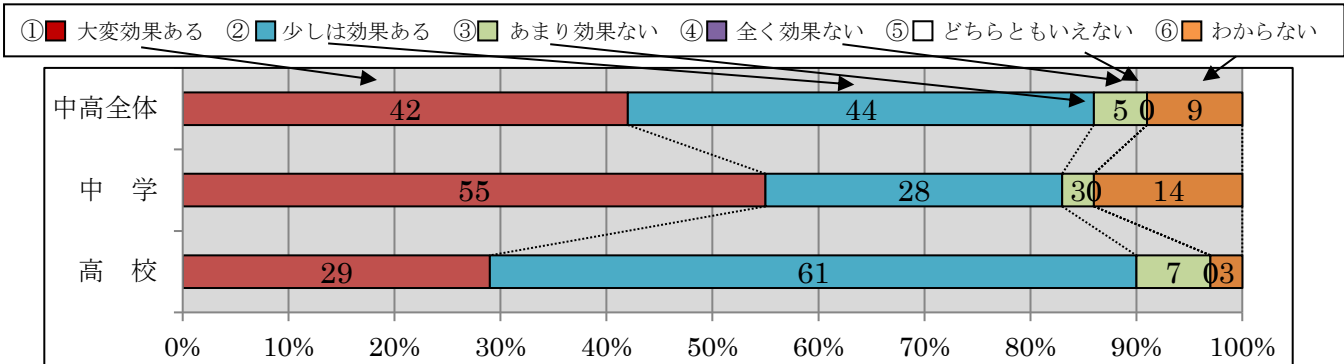


<推進上の課題>

(中) ・生徒との休憩時間を含めた関わり ・時間割編成 ・打合せ時間の確保 ・学力向上につなげる ・生徒と先生が授業だけの交流で、もっと話したいと思っている生徒もいる ・連携校で授業を行う際、生徒の特性や起こったトラブル等を知らないままなので対応が不十分になる ・生徒の情報交流がもう少し充実すると良い。 ・町研等でどこにポイントを置き、指導の継続を図るか共通認識及び推進がもっとい
るのでは ・本務校に居れない時間があるので、生徒指導など連携に隙間ができる可能性がある

(高) ・授業時間については配慮されていると感じるが、移動時間についても勤務上の配慮をお願いしたい ・担当する先生方の負担が大きいので配慮が重要だと思う ・担当クラスの決め方が効果的であるか検証が必要

(2) 部活動交流について、どう思われていますか。

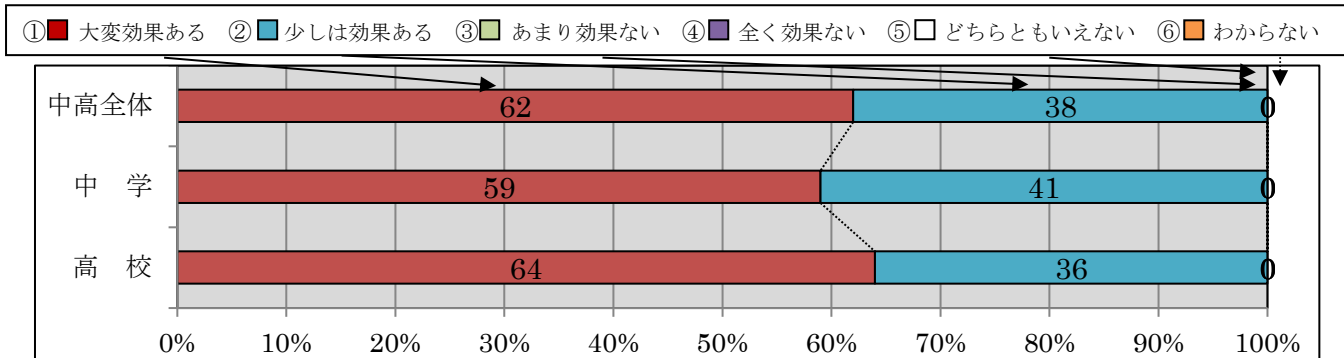


<推進上の課題>

(中) ・なかなか実施できない部がある ・機会が少ない ・部によるばらつき ・遠距離であるため輸送が困難である(輸送費がかかる) ・本年度はコロナもあり、あまり部活動交流ができていない部もあったのでは ・日程調整が難しい

(高) ・参加クラブが少ないと思うので、もっと参加を呼び掛ける ・互いの大会前の日程調整が難しいのではないかと ・移動や日程などなかなか実施できない ・もう少し中高連携として活動しやすくしてほしい ・移動手段

(3) 学校行事(オープンスクール・学習成果発表会など)への参加について、どう思われていますか。



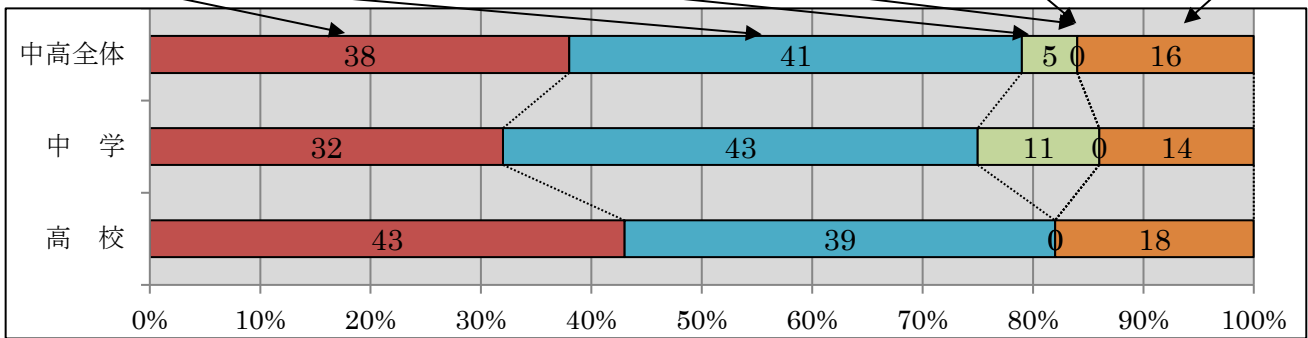
<推進上の課題>

(中) ・教員の負担増にならないようにした上での異年齢活動の充実(中学生が発表する場の設定等) ・オープンスクールについては効果はあるが、連携校独自のものではなく普通のオープンスクールである

(高) ・日程調整

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。

① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



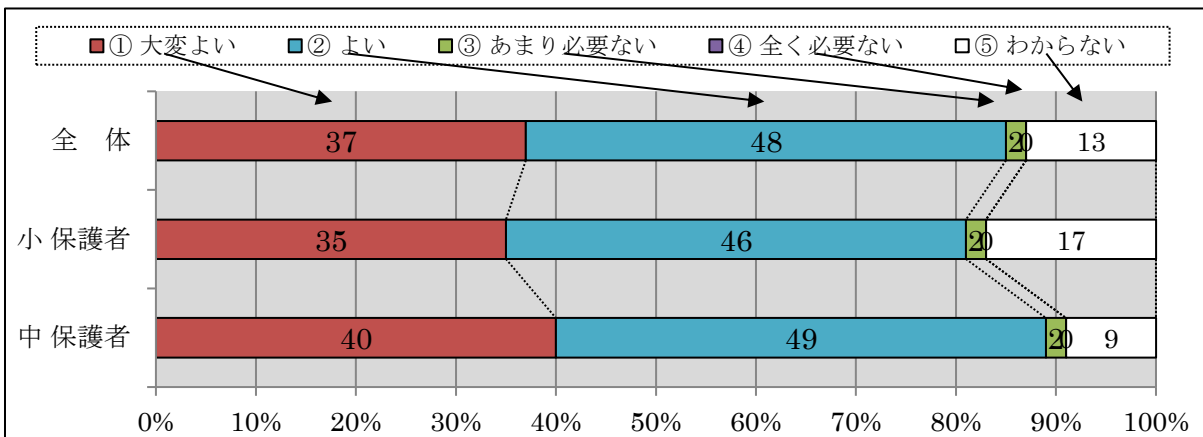
<推進上の課題>

- (中)・今年度はコロナの関係で実施が難しかった ・日程調整 ・大変効果があることを期待する ・中高の連携がしっかりできると良い
- (高)・教員の負担が増えてないか気になる

考察 ・中高全体では、どの項目も「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が70%以上ある。そして、いずれの項目も中学校より高校の方が評価が高い。（昨年は中学校の方が概して評価が高かった）
 ・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろとあげて頂いているので、一つ一つ中高一貫教育推進委員会（事務局会）等で、来年度できるだけ早い時期に検討していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

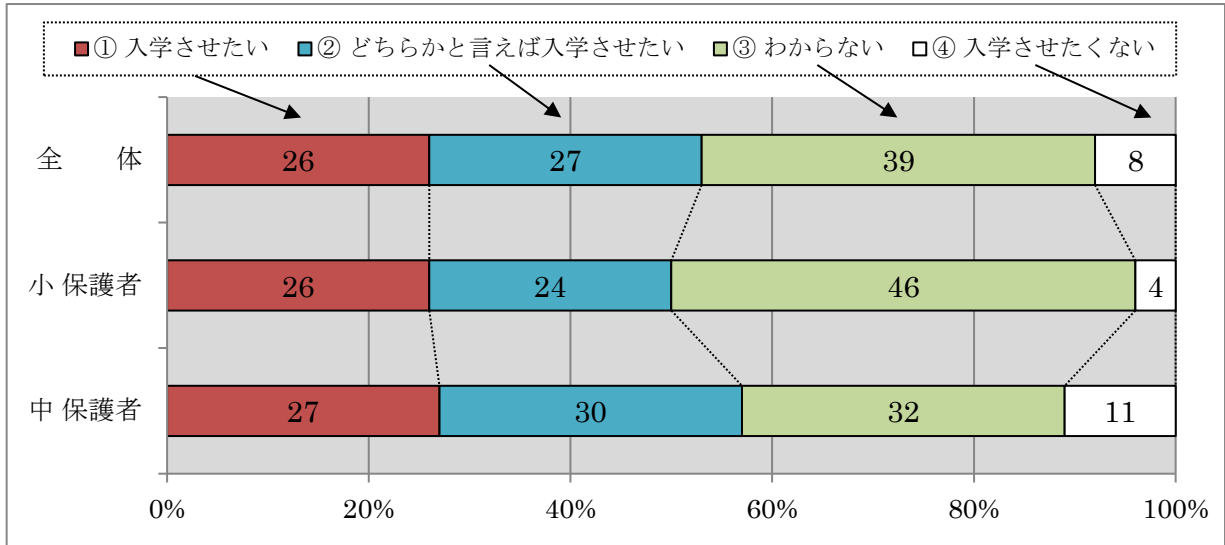
小・中 保護者 編

1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。

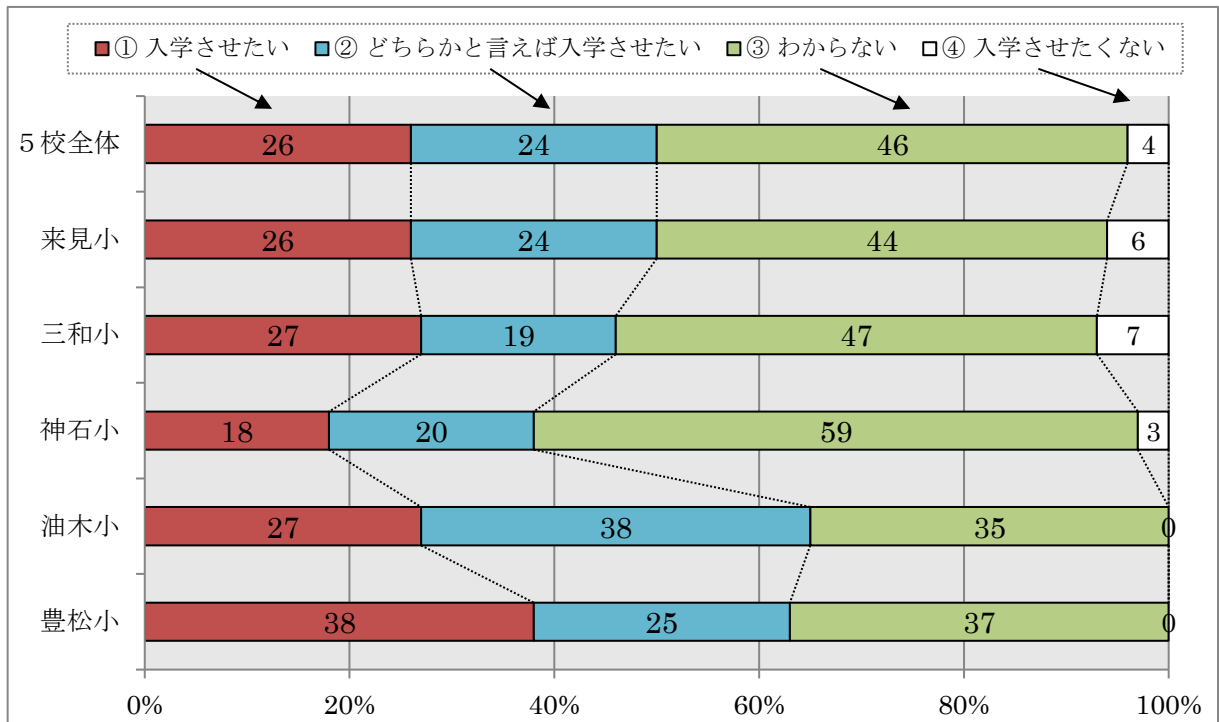


考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答85%（昨年86%）、「あまり必要ない・全く必要ない」の否定的回答2%（昨年3%）と大きな変化はない。また、「わからない」とする数値13%（昨年11%）で、特に小学校は17%あり、これまで小学校保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル高原の風』に連携教育の取り組みを紹介したり、ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図ってきたが、今後も一層の情報提供に努めていかなければならない。

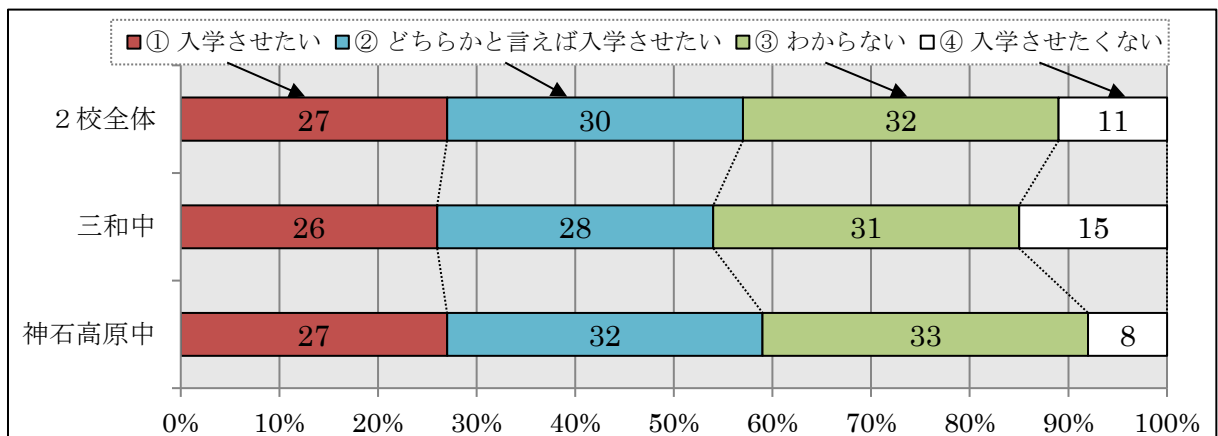
② (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



<各中学校別では>

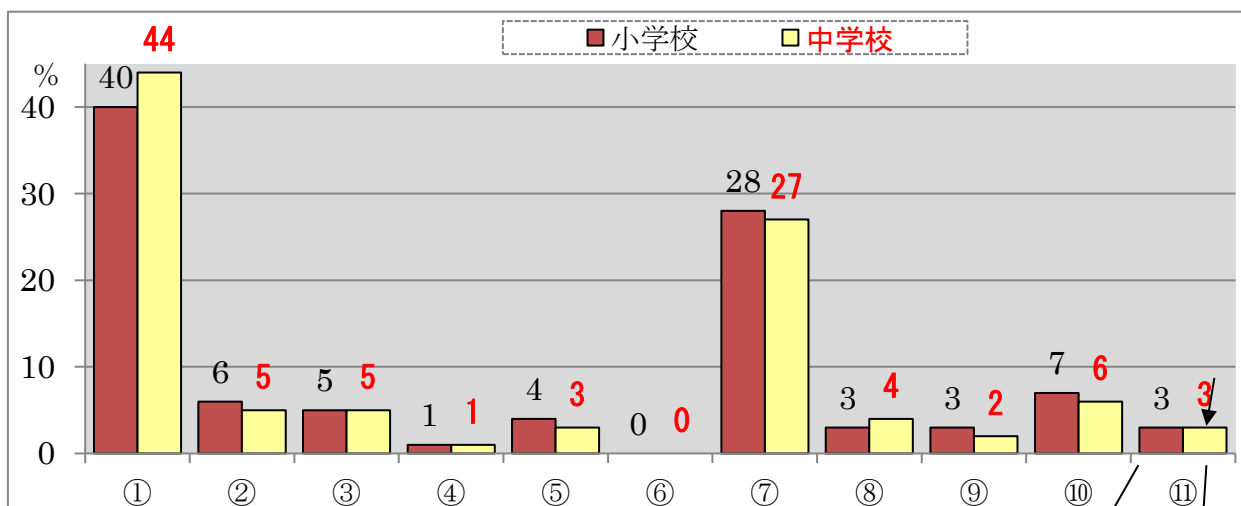


考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年53%、一昨年46%）で昨年と同じであった。

- ・小中学校別では、どの項目も小中学校の差はこれまでほとんど見られなかったが、本年度は「わからない」は小学校が多く、「入学させたくない」は中学校が多かった。
- ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が4校（昨年4校）である。中でも、油木小学校65%、豊松小学校63%と高い肯定的回答である。
- ・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率が50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が多いだけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記②(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思うものを下の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある
- ⑥ 施設設備がよい ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等） ⑧ 学校や生徒の雰囲気
- ⑨ 家族等の薦め ⑩ 友人関係 ⑪ その他



⑪ その他（小学校）

- ・町内でいいと思っている ・他県の高校教師から油木高校の取組みがよいと聞いたため ・施設設備がよいと思わない
- ・校内もきれいにしたい ・高校を卒業するために通って欲しい ・本人の希望

⑪ その他（中学校）

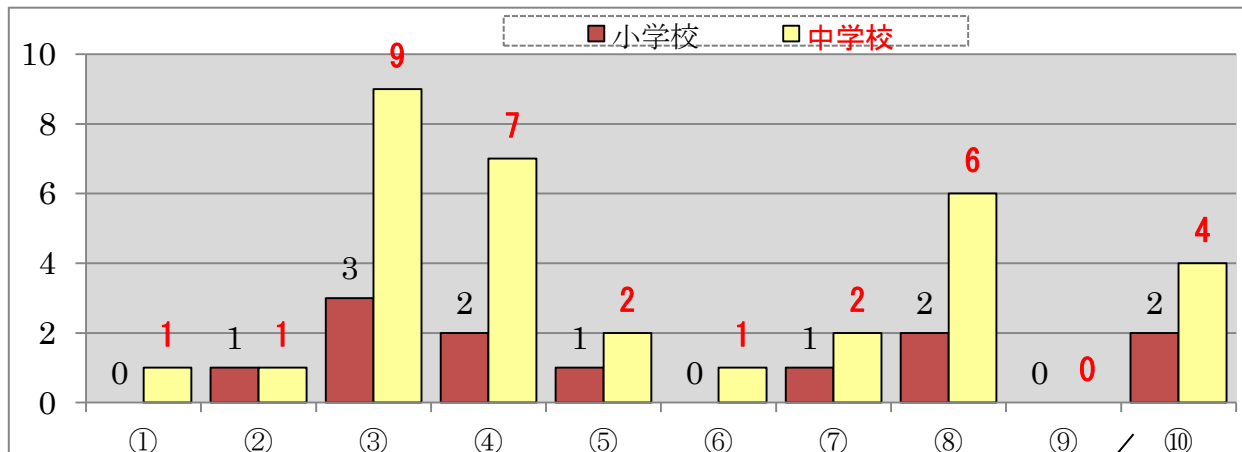
- ・本人の希望（4） ・家業（畜産）を継ぐので油木高校以外は考えていない ・町への関心を深めてほしい
- ・町内で活躍できる人材に ・産ビがあるから

考察 ・この質問は今回が初めてで、小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられる「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、町としてできる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記②(1)の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選んでください。

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他 (小学校)

- ・子どもが高校生になったら、老後を考えて福山に移住するため
- ・子どもには福山の高校へ行かせたい
- ・小中は子どもの友達関係を大事にしたいため、転校は考えていない

⑩ その他 (中学校)

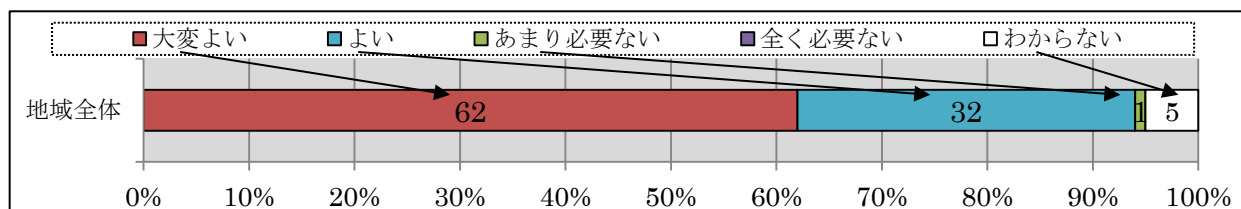
- ・より広い交友関係の中で刺激し合って欲しい
- ・油木校に通っている生徒が「油木高クソよ」「おもんない」など言っていたため
- ・友だち(生徒)が少ないため
- ・人間関係が固定化する
- ・教師によるパワハラ?
- ・支援学級での入学を希望しており、それに対する学科がないため、町外の学校へ行かざるを得ない

考察 ・小学校よりも中学校の保護者の方がこの質問に積極的にご回答頂きました。その中で、高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、③「子ども本人の希望」、続いて④「学習環境面」、そして⑧「進路実績」でした。

これらのことから、保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。また、「学習環境面」もかなり高いが、具体的に何を望んでおられるのか、わかるような質問にしていく必要がある。

地域 編

1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



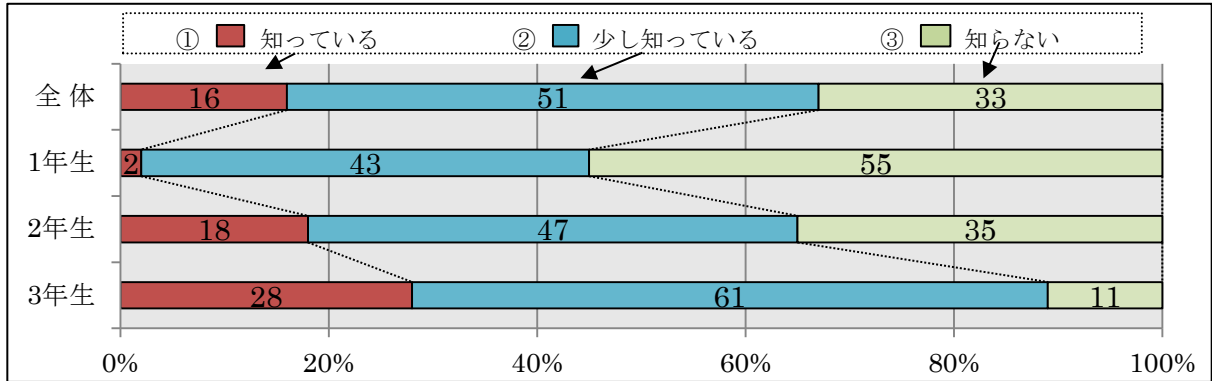
考察 地域の多くの方々(94%)は、中高連携教育を「よい」とする肯定的回答であるが、極少数ながら「あまり必要ない」との否定的回答は(1%)であった。今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

Ⅲ. 「油木高校生への町支援」に関するアンケート調査 結果と考察

中学生 編

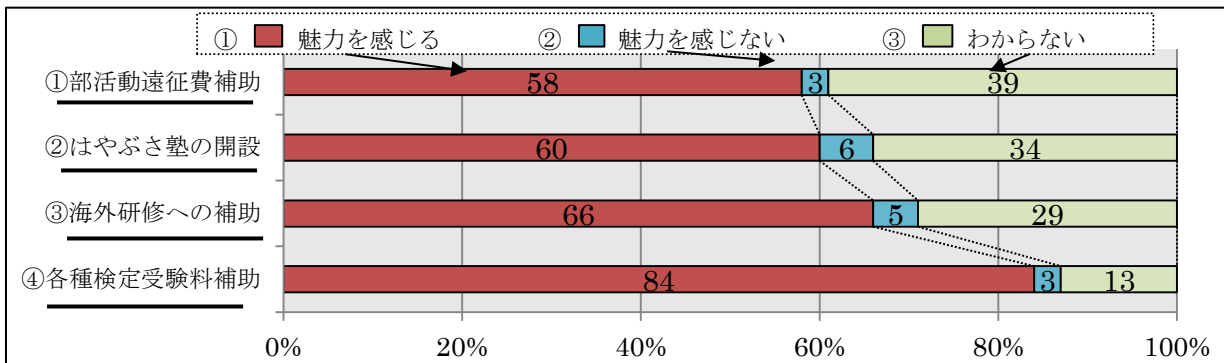
1 本町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援（部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」の開設・海外＜短期・長期＞研修事業への支援・各種検定受験料の補助）などを実施していますが、そのことについて質問します。

(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。

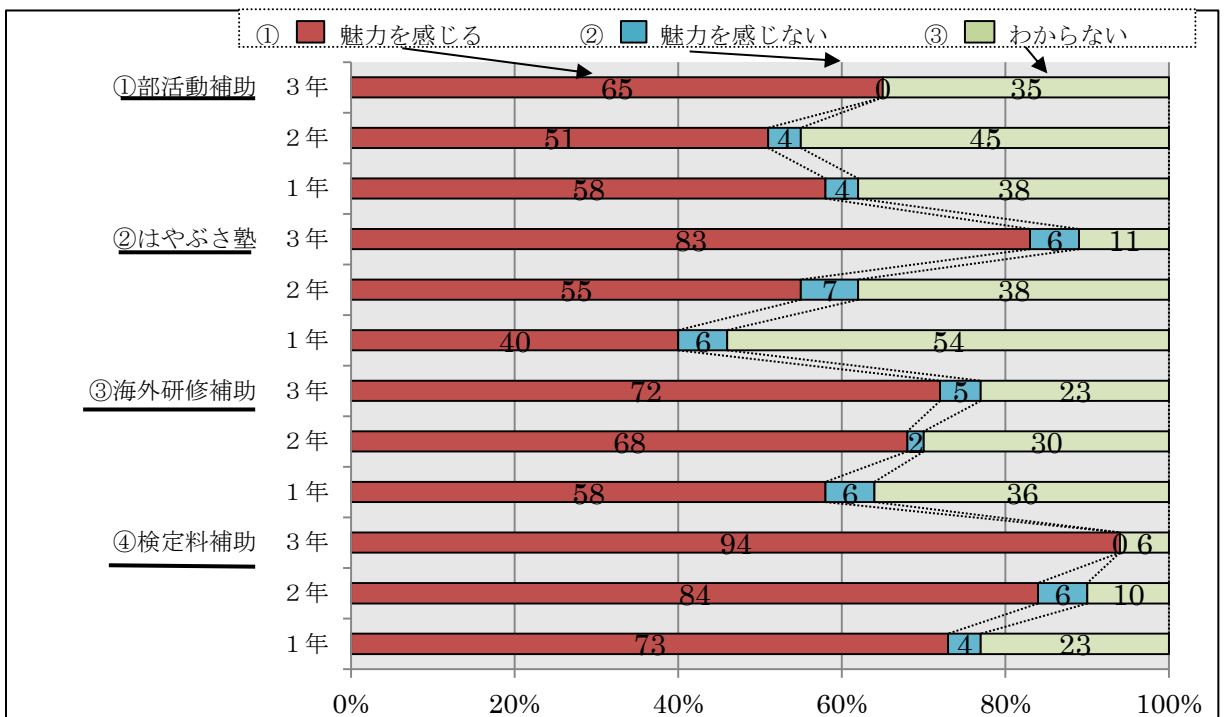


(2) 次のような支援（① 部活動遠征費補助 ② はやぶさ塾の開設 ③ 海外短期長期研修への補助 ④ 各種検定受験料の補助）についてどう思いますか。

< 2校全体では >



< 学年別では >

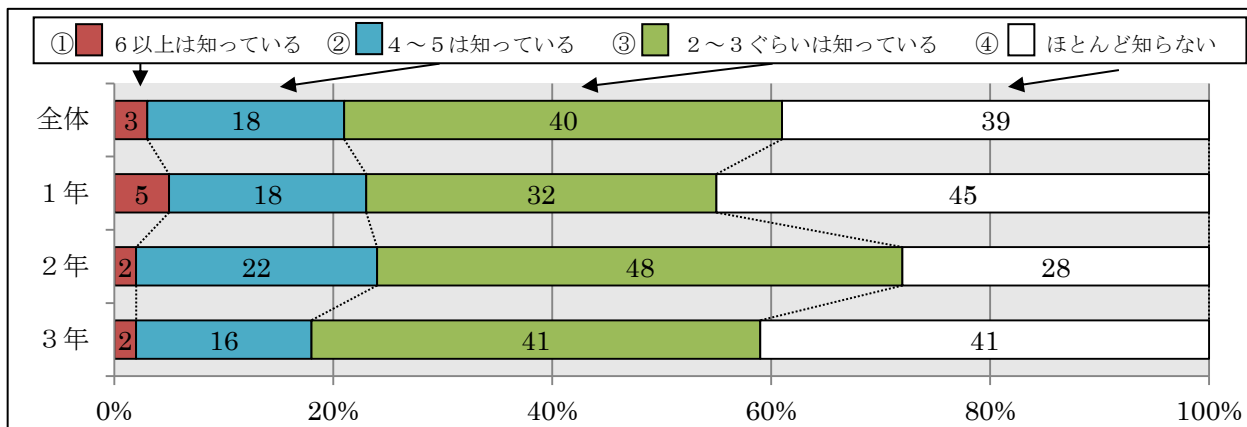


考察 ・支援内容の認知度「知っている」は、3年生が54%で、これは油木高校生のどの学年よりも高い。

- ・1, 2年生は「知らない」が30~50%台で1/2~1/3いるので、今後も情報提供は必要である。
- ・支援の魅力度調査では2校全体では、昨年度と同様に「魅力を感じる」が50%以上を占めている。
- ・学年別で見た時、いずれの項目も3年生の評価が一番高く、どの項目も60%以上「魅力を感じる」と回答している。また、学年が上がるにつれて「魅力度」がアップしている。一方、「わからない」とする回答も多くあり、引き続き情報提供に努めていく必要がある。

高校生 編

1 本町では本年度「油木高校生への7つの支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。

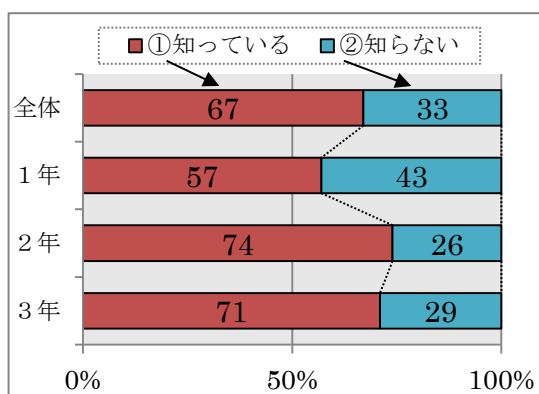
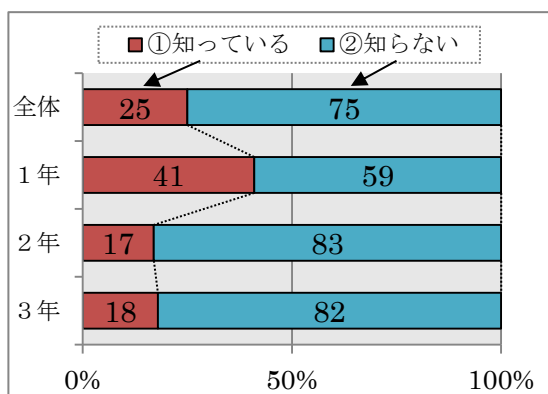


考察 「6以上は知っている」が全体で3%（昨年6%）と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が39%（昨年29%）で、本町教育委員会としてもこれまで機会を捉えて関係生徒・保護者に情報提供してきたが、今後一層の周知活動に努めて油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。なお、「油木高校生への7つの支援」リーフレットの学校送付時には、機会を捉えて生徒への紹介をお願いします。

2 Q1 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。

<産業ビジネス科>

<普通科>



Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産ビ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普通科	8	6	4	18	0	2	0	2	3	0	0	3
計	8	6	4	18	0	2	0	2	3	0	0	3

Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみたの感想はいかがですか。

	① 大満足	② 満足	③ 普通	④ やや不満	⑤ 不満
	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理由	
①	11人 (7・3・1人)	0人 (0・0・0人)	11人 (34%)	・分からない問題をすぐに質問できる。 ・テストの点が上がった ・説明や解説がとても分かりやすい ・先生が分かりやすく教えてくれる	
②	12人 (3・4・5人)	0人 (0・0・0人)	12人 (38%)	・やりたい内容ができる。 ・自分のペースで進められる(2) ・分からない所をすぐに教えてもらえる。 ・丁寧に教えてもらえる。 ・テストの点が上がった。 ・テスト期間中、毎日やってほしい。	
③	8人 (1・3・4人)	1人 (0・0・1人)	9人 (28%)	・自主学習ができる。 ・宿題ができる。 ・検定の勉強が充実している。	
④	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)		
⑤	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)		

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、毎年町内中学3年生は体験塾があったり、年度初めには入塾体験期間も設けて頂いている。

・一昨年から指導教科や時間帯を増やして実施しているが、その受講者数は23名(昨年:33名)で、そのうち通年者は18名(昨年:20名)と、昨年度より減少している。

・7月～3月までは、前半(16:00～18:00)・後半(18:30～20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、12名(2年4名、1年8名)だが、部活動等で常時参加できないようである。

・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価が72%と高い評価である。反対に「やや不満・不満」との否定的評価は0%であった。

※1, 2年生のみ教えてください。

Q4 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

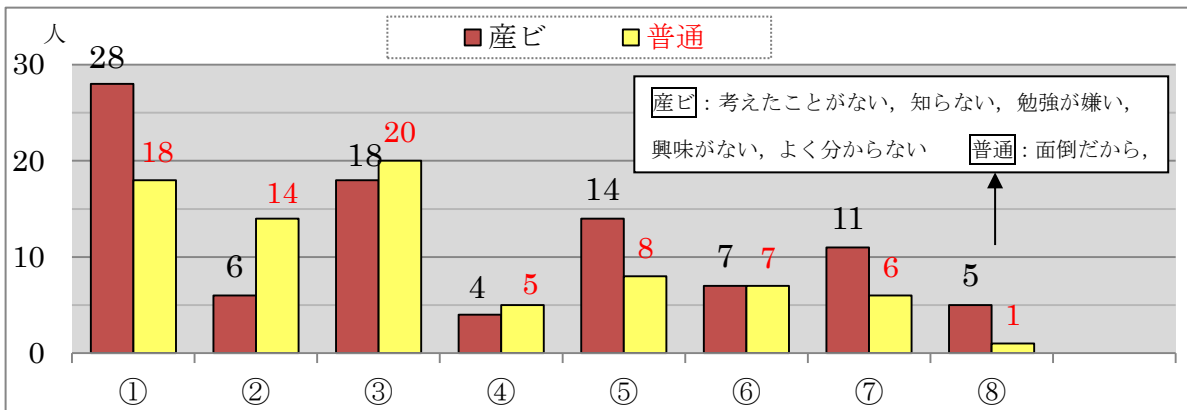
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	12人	8人	20人 (34%)	2人	0人	2人 (4%)	22人 (21%)
② 参加したくない	7人	6人	13人 (22%)	10人	9人	19人 (40%)	32人 (30%)
③ わからない	14人	12人	26人 (44%)	13人	14人	27人 (56%)	53人 (49%)

考察 現時点での「受講希望者」は、22人(21%)(昨年度:20人の21%)である。しかし、受講許容人数は50人であるだけに、「わからない」が49%と約半数いるので、新1年生も含めて、十分な紹介が必要である。

※ 「はやぶさ塾」に参加していない人だけ教えてください。

Q5 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。下の①～⑧の中で当てはまるものをすべて選んでください

- ① 必要性を感じない ② 部活動の後は学習意欲がわからない ③ 20時30分終了だと帰宅手段（バス・迎え）がない ④ 塾の勉強の仕方が自分に合わない ⑤ 自分一人で勉強したい ⑥ 塾に行く時間がない
⑦ 受講料が高い（半期：1万円） ⑧ その他



考察 Q5 は今回初めて尋ねた質問で、「参加していない理由」は学科によってやや違いはあるものの、その多くは、「① 必要性を感じない」、「③ 帰宅手段がない」「⑤ 自分一人で勉強したい」であった。

③ 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助（合格者のみ）をしていますが、本年度、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	1	10	5	16	1	0	0	1	17
漢字検定	5	2	6	13	2	1	0	3	16
数学検定	1	2	1	4	0	0	0	0	4
小型車両系建設機械（整地等） 小型フォークリフト特別教育講座	0	1	0	1	0	5	3	8	9

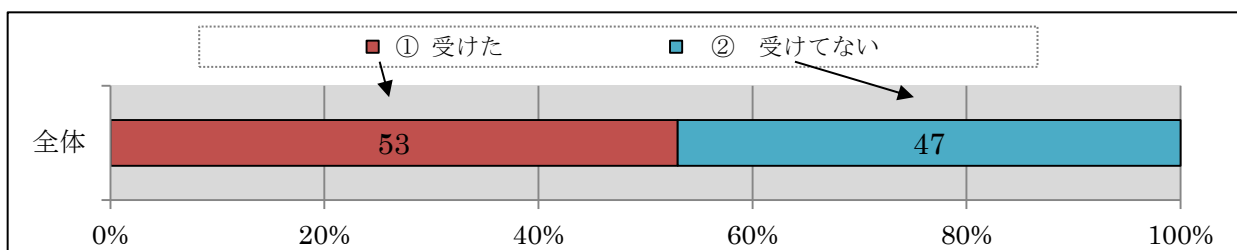
考察 ・英語検定、漢字検定の利用者は両学科ともにあるが、数学検定は普通科のみであった。また、小型車両系建設機械小型フォークリフト特別講習の利用者の多くは産業ビジネス科生であるが、毎年普通科生もいる。

④ 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。

（本年度の町外生は 70名）

<本年度入寮者の概要> ※（ ）内は町内生の人数

	男子（最大収容人数：31人）			女子（最大収容人数：12人）		
学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
人数	14人(0)	12人(0)	5人(0)	3人(1)	2人(0)	2人(0)
計	31人(0)			7人(1)		



考察 ・補助を利用していない町外生は33人(47%)で、そのほとんどが寮生(寮生:男31人,女7人)と思われるので、実質の利用率はほぼ100%で、非常に高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つとなっている。

⑤ 次の質問については、1, 2年生のみ教えてください。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	2人	2人	4人 (7%)	4人	4人	8人 (16%)	12人 (11%)
② 希望なし	22人	17人	39人 (64%)	12人	10人	22人 (43%)	61人 (54%)
③ わからない	10人	8人	18人 (29%)	11人	10人	21人 (41%)	39人 (35%)

Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

① 短期(2週間) ② 長期(10週間)

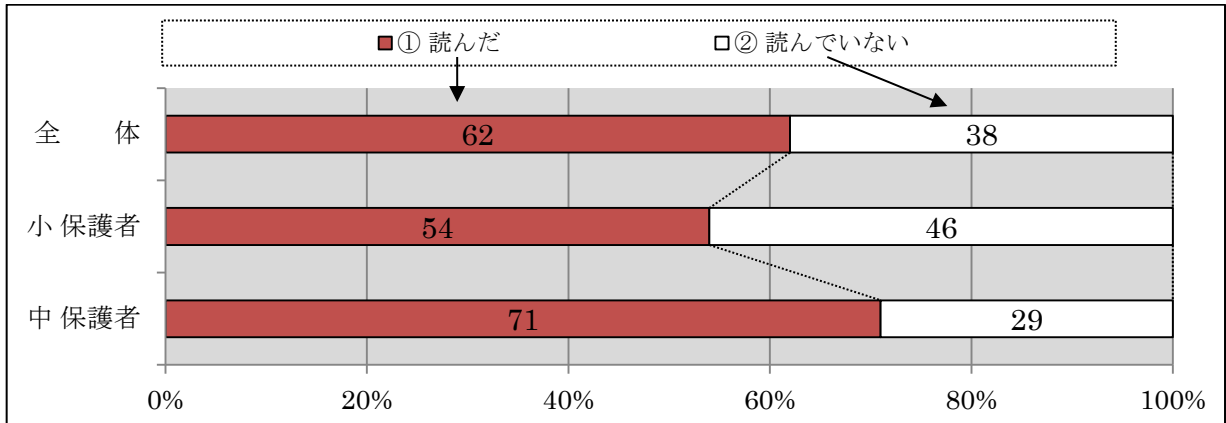
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 短期	0人	2人	2人	0人	3人	3人	5人
② 長期	2人	0人	2人	4人	3人	7人	9人

考察 ・現段階の「参加希望有り」と回答した生徒は、15名でありながら、短期が16名、長期が1名と、17名回答しているので、「わからない」とした生徒が2名「短期が長期」に回答したと思われる。いずれにせよ、定員数よりオーバーしており、まだ増える可能性もある。ただコロナの状況によっては中止となる。

一方、油木高校では令和3年度に「2021 東進 Global English Camp」(世界トップランク大学の学生と過ごすスピーキング漬けの5日間、日本人6~7名で学生1人、経費5~6万円、英検3級以上)の応募があれば、高校生に紹介し参加者を募るとのことで、この事業が今後も継続されれば生徒に紹介していきたいとのこと。

小・中 保護者 編

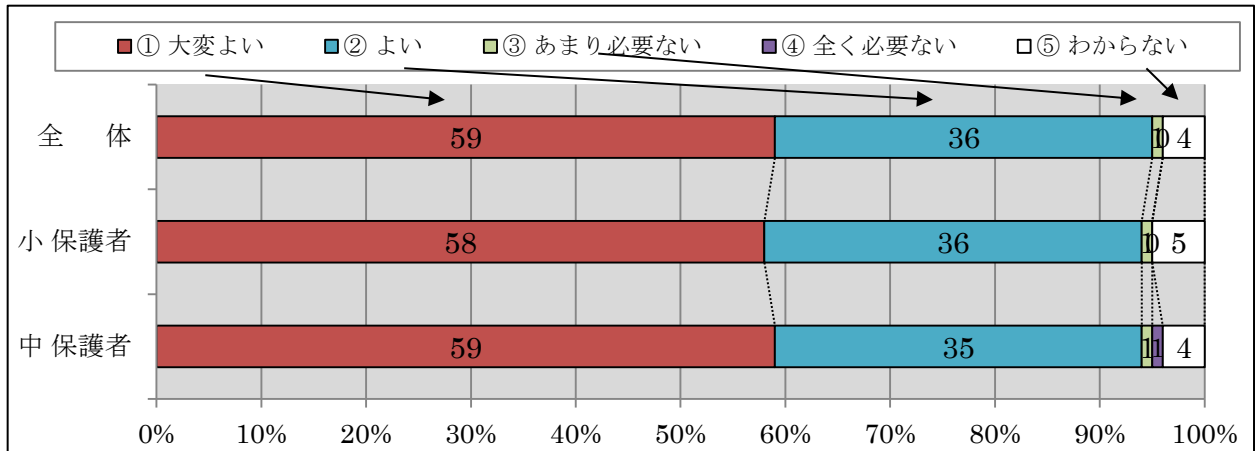
1 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への7つの支援』リーフレットを読まれましたか。



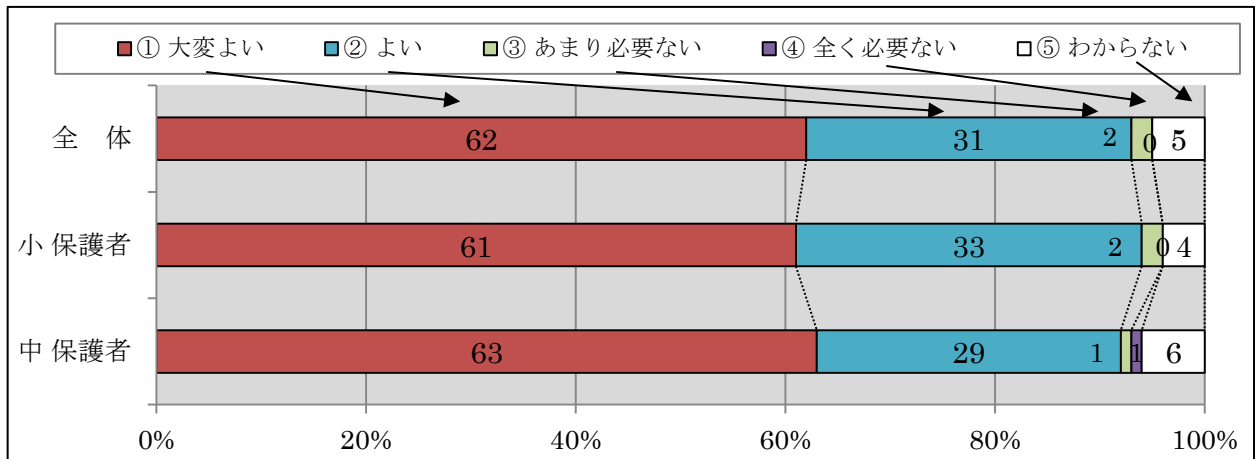
考察 全体としては、62%（昨年58%、一昨年63%）読まれており、「中高一貫教育ジャーナル高原の風」よりも多くの保護者が読まれている。しかし、この「油木高校生への7つの支援」は、油木高校の一つの魅力でもあるので、関係保護者に知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校進路説明会などで高校や町からのPRをしていく必要がある。

2 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

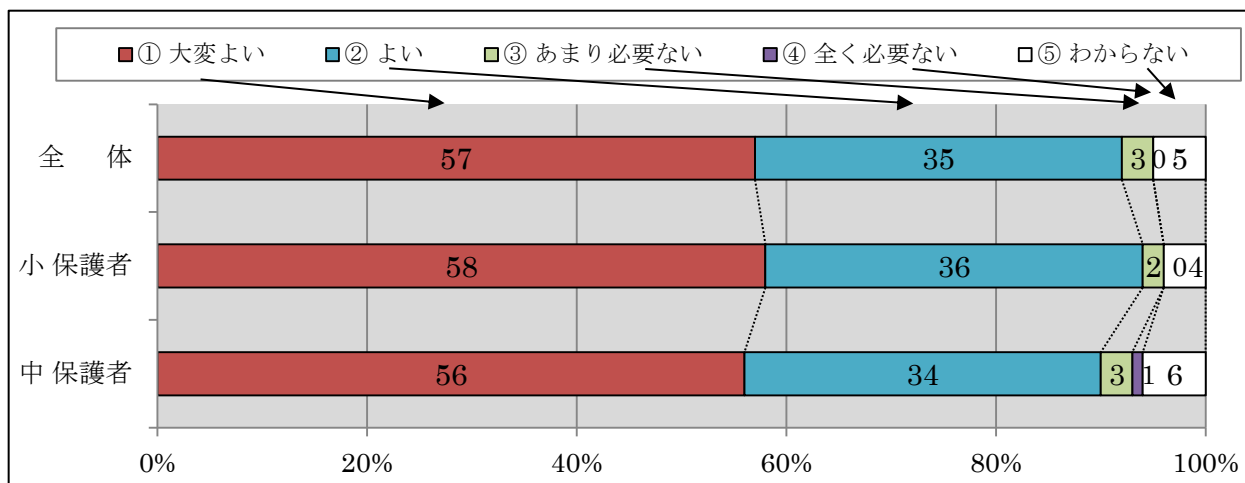
(1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



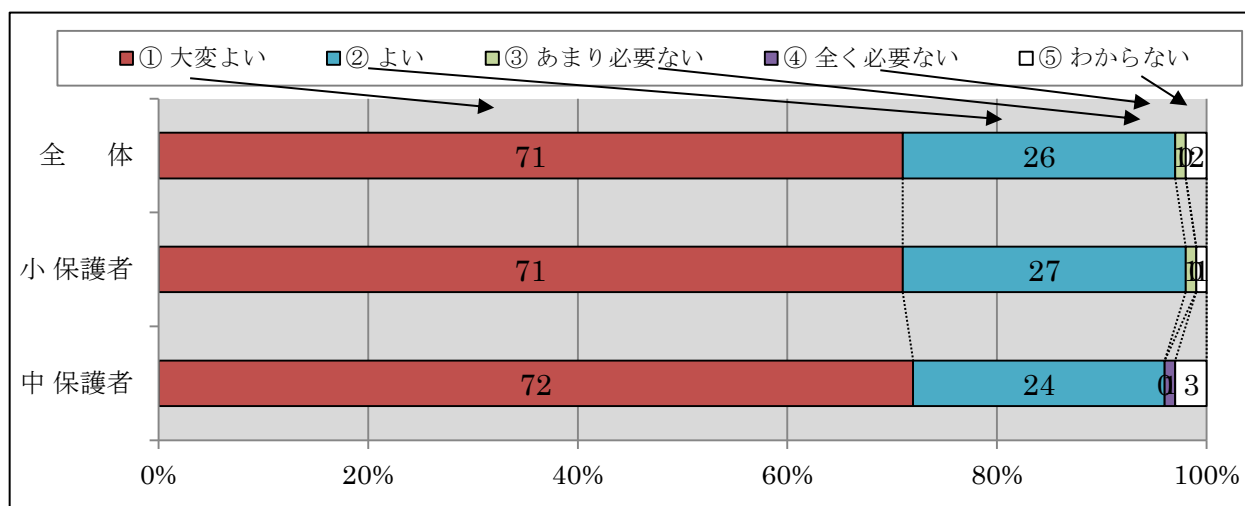
(2) 油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾・神ゼミ）の開設について、どう思いますか。



(3) 海外短期（語学・農業）研修事業への支援について、どう思いますか。



(4) 各種検定受験料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。

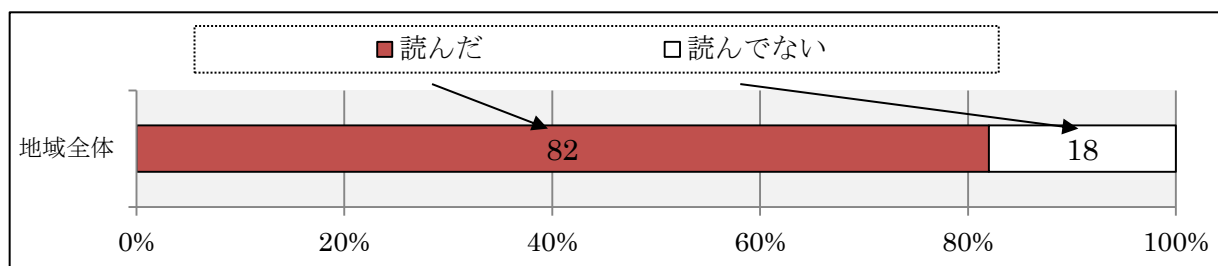


考察・ すべての項目で、90%以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、高い評価を受けている。

- ・ 小、中学校別で見た時、あまり数値に大きな差（1～2%）はない。
- ・ このように多くの項目において保護者の期待度が高いだけに、今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

地域 編

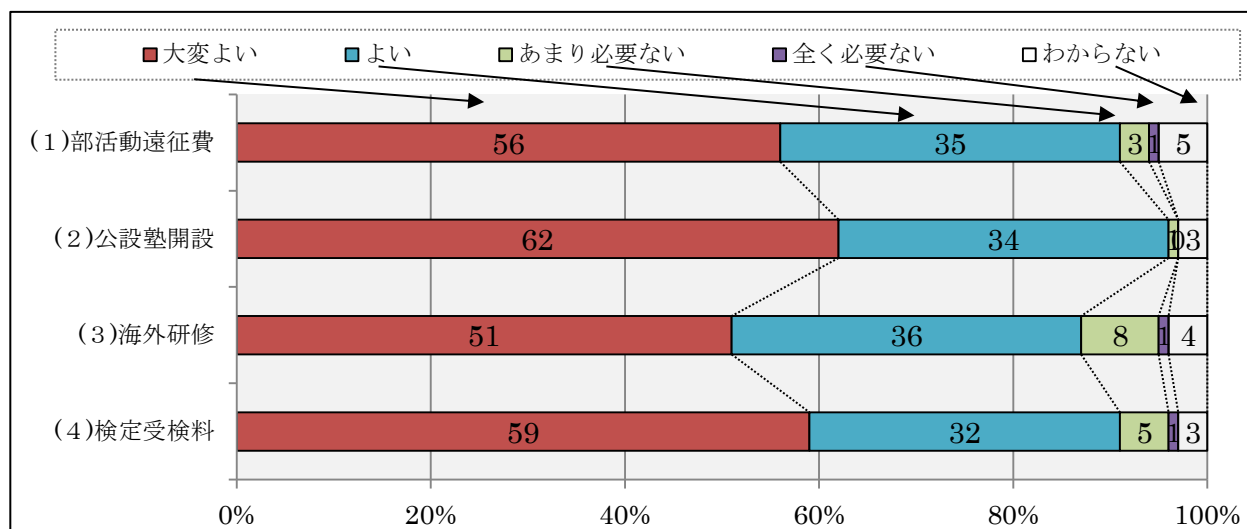
1] 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への7つの支援』リーフレットを読まれましたか。



考察 本年度も多くの方々（82% 昨年：85%）に読んでいただいているが、この「7つの支援」は、油木高校の魅力でもあるので、地域の方々にはしっかりと知っていただき、声を聞きながら更に検討していくためにも、リーフレットの配布は今後も継続していく必要がある。

② 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

- (1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。
- (2) 油木高校内での公設塾「はやぶさ塾・神ゼミ」の開設について、どう思いますか。
- (3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。
- (4) 各種検定の受検料補助（合格者のみ）について、どう思いますか。



考察 各項目とも「大変よい」「よい」を合わせてほしい90%以上（海外研修のみ87%）あり、肯定的回答が非常に多い。しかも「大変よい」が全て50%以上ある。この数値が示すように、油木高校への地域住民の期待は大きいことが伺われる。それ故、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。